

令和 8 年 度  
(2026 年度)

シ ラ バ ス  
(年間授業計画)

東京都立江北高等学校  
全日制課程

## シラバス(年間授業計画)について

### 1 シラバスとは

シラバス (syllabus) とは、ギリシャ語を語源とし、主にアメリカの学校において科目 (講座) の指導方針や教員の連絡方法など多くの情報を含んだものとして作成され、学生にとっては不可欠なものとして用いられています。

日本では、近年多くの学校が「授業計画」として作成し、生徒や保護者に授業内容などの情報を周知するために作成しています。

### 2 本校のシラバス

本校は、文部科学省より告示された学習指導要領に基づき、生徒の実態に即した教育課程を編成しています。生徒が授業の内容を理解し、見通しをもって授業に臨み、それぞれの学習効果を高めるために、毎年シラバスを作成し、1学年から3学年までの年間授業計画として生徒や保護者に配布しています。

本校のシラバスは、講座名 (科目名)、単位数、対象学年、教科書、副教材、学習の目標、授業内容、学習方法、評価の観点、評価方法、授業計画等からなっています。

### 3 シラバスの活用

学習活動は、意図的、計画的、継続的に行うことが基本です。さらに、生徒が自ら意欲的に取り組むことによって、学習の効果は高まります。また、授業には「予習」と「復習」は欠かすことができないものであり、予習は授業内容を理解するために、復習は学んだことの定着を確実なものとするために重要なものです。

本シラバスを活用することは、生徒が主体的かつ意欲的に学習を進めていく上で、事前に授業内容を理解し、計画的な学習を実践するために大変効果的です。また、上級学年への進級時に行う科目選択においても、自己の進路に照らしてどの科目を履修すべきかを考える資料としても活用できます。

また、新学習指導要領のポイントとなっている主体的・対話的で深い学びの視点からも、このシラバスに基づく、生徒と教員相互のより良い授業の実践により、学習過程が改善の方向に進むことに繋がります。

# 国語

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：「現代の国語 改訂版」（筑摩書房）

教科 国語の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 現代の国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。難関大学受験レベルの学力を見据え、模擬試験の偏差値55以上を目指す。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数	
			語・聞	書・読						
1 学期	1 問うこと、語ること ・書き手の主張を、さまざまな表現から読み取る ・多様な表現を知る ・内容を的確に捉え要点を把握する	サイエンスの視点、アートの視点（齋藤亜矢） 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深める。主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・言語活動 「質問する力」を育てる。	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	7	
	2 評論文への招待 ・「自分とは何か」について考える ・言葉の役割や働きを知る ・目的や場に応じた話題を設定する	ことばとは何か（内田樹） ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やすとともに、語句や言葉の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 ・言語活動 評論文の一節を引用し、自分の意見を述べる。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査					○	○		1	
	3 ことばで伝える思いと考え ・身体について考える ・贈与の役割や働きを知る ・目的や場に応じた話題を設定する	身体、この遠きもの（鷗田清一） ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・言語活動 メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぶ。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5
	3 ことばで伝える思いと考え ・身体について考える ・贈与の役割や働きを知る ・目的や場に応じた話題を設定する	贈り物と商品の違い（松村圭一郎） ・贈与の役割や働きについて理解する。 ・言語活動 メモ・ノートの取り方・活かし方を学ぶ。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	8
定期考査					○	○		1		
2 学期	4 情報と推論 ・情報をどのように活用していくべきか考える ・文章や図表を読んで自分の考えを深める	矢われた両腕（清岡卓行） ・逆説的思考の重要性について理解する。 ・言語活動 情報の整理と活用を学ぶ。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	8
	5 根拠から主張へ ・文章の組み立てや情報と情報の関係について理解する	マルジャーナの知恵（岩井克人） ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する。 ・言語活動 議論の前提を明確化する。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査					○	○		1	



年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

使用教科書：「言語文化 改訂版」（筑摩書房）

教科 国語の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 言語文化の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。難関大学受験レベルの学力を見据え、模擬試験の偏差値55以上を目指す。	「書くこと」「読むこと」において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	古文入門 ・説話のおもしろさを味わう。 ・歴史的仮名遣いの読み方や、活用語の活用形や種類、係り結びなど文語のきまりを理解し、古文に親しむ。	宇治拾遺物語 児のそら寝/絵仏師良秀 言語活動 声に出して古文を読む	○	○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・進んで説話のおもしろさを味わい、歴史的仮名遣いの読み方や古語と現代語の違いを理解し、学習課題に沿って、内容や展開などについて叙述を基に的確に捉える。	○	○	○	12
	小説を読む ・近代日本文学への入門的な短編を通して、内容や展開を的確に捉えることを学ぶ。 ・異なる作風の小説を比較して、それぞれの作品の特色をつかむ。	羅生門（芥川龍之介） 読み比べ 「羅城門の上層に登りて死人を見る 盗人の語」（『今昔物語集』） 言語活動 フィクションの特性を話し合う	○	○	○	・本文と『今昔物語集』を比較しながら、「下人」の行動について、肯定・否定の立場に分かれて議論し、考えを深める。 ・舞台設定・構成・描写に注目する。 ・末尾の一文から想像される下人のその後の姿を、文章にまとめることを通して、舞台設定・構成・描写に対する理解を深める。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	随想を読む(古文) ・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。	徒然草 つれづれなるままに/丹波に出雲といふ所あり/ある人、弓射ることを習ふに/名を聞くより、やがて面影は/花は盛りに 言語活動 作者の主張を読み取る	○	○	○	・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉える。 ・作者の主張を読み取り、批評する。 ・『徒然草』に表れた作者のものの見方、感じ方を捉え、今までの学習を生かして、作者の主張を読み取り、批評しようとしている。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。	○	○	○	10
	漢文入門 ・漢文の世界に親しむ。 ・訓読のきまりや熟語の構造を理解する。 ・漢和辞典の使い方を理解する。	・なぜ漢文を学ぶのか ・訓読の世界 ・漢和辞典の使い方 故事成語 蛇足/朝三暮四 言語活動 熟語の意味	○	○	○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・漢文の世界に親しみ、訓読のきまりや熟語の構造を理解し、学習の見通しをもって、漢和辞典の使い方を理解する。	○	○	○	10
定期考査						○	○		1	
2 学期	物語を読む ・『竹取物語』に描かれた人物の心情などを読み取る。 ・文語助動詞の種類と用法を理解する。	竹取物語 かぐや姫誕生/かぐや姫の昇天 言語活動 月が詠まれた和歌を鑑賞する	○	○	○	・『竹取物語』に描かれた人物の心情などを読み取り、文語助動詞の種類と用法を理解し、学習課題に沿って、かぐや姫が「この国」を去ることを嘆き悲しむ理由を考えようとしている。	○	○	○	12
	小説を読む ・小説や随想の表現の仕方・特色をつかみ、自分のものの見方・考え方、感じ方を深める。 ・作品の成立した時代や背景について調べ、作品をさまざまな角度から考える。	夢十夜（夏目漱石） 参考 胡蝶之夢 莊子	○	○	○	・小説や随想の表現の仕方・特色をつかんで自分のものの見方、考え方、感じ方を深め、成立した時代や背景などさまざまな角度からそれぞれの作品を考え、今までの学習を生かして、人称・時制に注目して文章を書くことを通して、作家の工夫を理解しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	物語を読む 日記を読む ・歌物語に親しむ。日記文学の特徴や成立の背景を理解する。 ・内容や構成、叙述を基に人物の心情を考える。 ・文語助動詞・助詞の種類と用法を理解する。	伊勢物語 芥川/東下り/筒井筒/梓弓 土佐日記 門出/亡き児をしのぶ/帰京 言語活動 視点を変えて、物語を書き換える	○	○	○	・昔の人の恋のあり方について理解し、歌物語に親しみ、今までの学習を生かして、想像力を働かせ、人物の心情を考えようとしている。 ・日記文学の特徴や成立の背景、真名と仮名について理解しようとしている。	○	○	○	14

	<p>史伝を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・史伝の背景を理解し、漢文の世界に親しむ。</li> <li>・史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぶ。</li> <li>・登場人物の弁舌の巧みさについて話し合う。</li> </ul>	<p>十八史略 刺客荊軻/管鮑之交/死諸葛走生仲達</p> <p>言語活動 登場人物の魅力を紹介する</p>	○	○	○	<p>・史伝の背景を理解し、史伝に描かれた登場人物の言動・心情・考え方や生き方を学ぼうとしている。</p>	○	○	○	6	
	定期考査							○	○		1
3 学 期	<p>軍紀を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『平家物語』特有の表現を味わい、軍記物語の文体の特徴について理解する。</li> <li>・敬語や音便について理解する。</li> </ul> <p>和歌・短歌</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代から現代にまで続く、和歌の形式を理解し、その代表的作品を読み味わう。</li> </ul>	<p>平家物語 木曾の最期 『平家物語の魅力』兵頭裕己</p> <p>言語活動 人物の心情を想像する。</p> <p>和歌 短歌 和歌の修辭</p>	○	○	○	<p>・音読する、平曲を聞くなどを通して『平家物語』特有の表現を味わい、軍記物語の文体の特徴について理解し、学習課題に沿って、それぞれの場面での登場人物の心情を深く読み取ろうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</li> </ul>	○	○	○	10	
	<p>韻文の表現を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代の韻文表現に触れて様々な表現を学ぶ。</li> </ul>	<p>I was born (吉野弘)</p> <p>言語活動 詩歌を通して表現力を磨こう</p>	○	○	○	<p>・内容や展開を的確に捉えることを学び、異なる作風の小説を比較してそれぞれの作品の特色をつかもうとし、今までの学習を生かして、舞台設定・構成・描写に注目して小説を読み、フィクションの特性を理解しようとしている。</p>	○	○	○	5	
	<p>詩文・中国古典思想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢詩文の表現の特色について学び、漢詩文に親しむ。</li> <li>・『論語』を読み、そこに現れている孔子のものの見方・考え方を理解する。</li> </ul>	<p>詩 鹿柴・江雪・秋風引・涼州詞</p> <p>言語活動 漢詩漢文の表現の特徴をつかむ</p> <p>論語 老子</p>	○	○	○	<p>・漢詩文の表現の特色について学び、描かれた状況や心情を考えながら、それぞれの漢詩文を読み味わい、漢詩文の日本語・日本文学への影響を考察しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・『論語』を学ぶことによって、自己のものの見方・考え方を豊かにし、日本における『論語』の受容を理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	5	
	定期考査							○	○		1
										合計	105

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年） 教科 国語 科目 現代文探究Ⅰ

教科：国語

科目：現代文探究Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

使用教科書：「論理国語」「文学国語」（筑摩書房）

教科 国語の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 論理国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 難関大学受験レベルの学力を見据え、模擬試験の偏差値55以上を目指す。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	1 架橋することば ・人と世界を結ぶことばの働きを理解する ・多様な表現を知る ・内容を的確に捉え要点を把握する	「一〇〇パーセントは正しくない科学」（更科功） 「物語るという欲望」（内田樹） ・物事を筋道立てて考えるために役にたつ論理学の用語や、科学における仮説の意味などを学ぶ。 ・解釈に関する筆者の考え方を学ぶ。例示を効果的に使った文章展開に注目する。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	8
	2 日常の中の論点 ・身近な物事を分析し、その仕組みを捉える ・文体や文章構成について理解を深める	「ファッションの現象学」（河野哲也） ・「対比」の効果について考える。抽象的な表現の仕方を通して、学習の基礎となる重要語句を文章のなかで理解する。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	3 〈私〉のいる場所 ・偏見や先入観にとらわれない議論のあり方を考える ・言葉の役割や働きを知る	「近代の成立—遠近法」（橋爪大三郎） ・「近代」が生み出してきた思考や世界観について理解する。「近代」において「主体」と「客体」という区分はどのような問題を作り出したか考える。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5
	4 小説Ⅰ 物語との出会い ・文学的文章の種類（小説）や特徴などについて理解を深める。漢文調などの文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解する。	「山月記」（中島敦） ・フィクションの世界だからこそ際立つ人間の姿を読み取る。 ・漢文調のリズムを味わう。 ・作中人物のやり取りに注目し、小説の中の会話の表現方法を理解する。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1	
2 学 期	5 歴史に向き合う ・時代の隔たりから得られる知を学ぶ ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付ける ・多様な表現を知る	「異時代人の目」（若桑みどり） 「莊子」（湯川秀樹） ・筆者が明らかにする人間の知性の「限界」と「希望」とを正しく読み取る。 ・古典の意義はどこにあるのか、歴史を経た教智がさまざまな解釈によってよみがえることを学ぶ。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	8
	6 世界を視る位置 ・多面的な視点から文章を捉える ・文章の組み立てや情報と情報の関係について理解する	「生物の作る環境」（日高敏隆） 「貧困は自己責任なのか」（湯浅誠） ・環境のとらえ方の多様性を学ぶ。 ・現代社会の問題点に光を当てる視座の見だし方を学ぶ。 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	7 〈伝統〉を見つめ直す ・伝統を扱った文章を読み、書く力を鍛える ・個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し論理の明晰さを確かめる	「模倣と『なぞり』」（尼ヶ崎彬） 「桜が削った『日本』」（佐藤俊樹） ・対比的に書かれた筆者の主張を論理的に捉える。 ・既存の関係を相対化する思考のあり方を学ぶ。 ・言語活動	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	5



年間授業計画

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 国語 科目 古典探求

教科: 国語 科目: 古典探求 単位数: 3 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ H組

使用教科書: 「精選 古典探求」(大修館書店)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 古典探求の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。難関大学受験レベルの学力を見据え、模擬試験の偏差値55以上を目指す。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	説話 ・説話の舞台や背景に注目し、登場人物の行動に注意して読み、話の展開を把握する。 ・古典に対して興味を持ち、話の展開を読み取り、人物像をとらえる。 随筆 ・仏教的無常観に基づく、作者のものの見方、感じ方、考え方を理解し、『徒然草』の魅力をとらえる。 故事・逸話 ・漢文訓読に習熟する。 ・故事成語の意味の成り立ちを理解し、故事・逸話の叙述のおもしろさを味読する。	宇治拾遺物語 「検非違使忠明」 今昔物語集 「安倍晴明」 徒然草 「家居のつきづきしく」 故事 「知音」「画竜点睛」「塞翁馬」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど、古典特有の表現などについて理解している。 ・故事成語に興味を持ち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査					○	○		1	
	随筆 ・仏教的無常観に基づく、作者の思想を理解する。 ・対句的表現や比喩などの修辞技巧を理解し、的確な描写とその表現効果について考える。 物語 ・歌物語の特徴、和歌と地の文の関係や表現技巧を理解し味読する。 漢詩 ・近体詩の形式や表現について理解を深める。 ・詩人たちの自然観についての認識を深める。	方丈記 「行く川の流れ」 「安元の大火」 伊勢物語 「初冠」 大和物語 「をばすて」 漢詩 王維 蘇軾 杜甫 李白	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・漢詩に興味をもち、作者のものの見方、感じ方を読み味わおうとしている。	○	○	○	15
	定期考査					○	○		1	
2 学期	随筆 ・清少納言の感性と機知を理解し、宮廷生活のおもしろさを味わう。 物語 ・登場人物の人間関係を正確につかみ、それぞれの心理の動きをたどる。 ・物語中の人物描写などを味わい、作品をとりまく時代の背景、文化的環境についての理解を深める。 史伝 ・さまざまな人物像とおして、人間の生き方についての考えを深める。 ・項羽と劉邦の生涯と世界史で学習したことがらとのつながりを理解する。	枕草子 「すさまじきもの」 「宮に初めて参りたるころ」 「中納言参りたまひて」 源氏物語 「光源氏の誕生」 史記 「鴻門の会」	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・陶潜の名作の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養する。	○	○	○	15
	定期考査					○	○		1	



年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年） 教科 国語 科目 現代文探究Ⅱ（文系）

教科：国語 科目：現代文探究Ⅱ（文系） 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 B組 E組～H組

使用教科書：「論理国語」（筑摩書房）「文学国語」（筑摩書房）

教科 国語の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 論理国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 大学入学共通テストで平均点以上の学力を目標とする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文	書	読					
1 学 期	論理 多様性のほうへ 文学 物語が生まれる場所  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「ピジンという生き方」 菅啓次郎 「小説とは何か」 三島由紀夫 「物語と歴史のあいだ」 野家啓一  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
	文学 交差するドラマ 論理 可視化する力  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「貨幣共同体」 岩井克人 「つながりと秩序」 北田晁大 「真実の百面相」 大森荘蔵 「輓」 安部公房  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	20
定期考査						○	○		1	
2 学 期	論理 語りと世界 文学 表現を突き詰める  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「ことばへの問い」 熊野純彦 「物語としての自己」 野口裕二 「無常ということ」 小林秀雄 「思考の誕生」 蓮実重彦 「絵画の二十世紀」 前田英樹  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1



年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年） 教科 国語 科目 現代文探究Ⅱ（理系）

教科：国語 科目：現代文探究Ⅱ（理系） 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組、C組 D組 E組

使用教科書：「論理国語」（筑摩書房）「文学国語」（筑摩書房）

教科 国語の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 論理国語の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 大学入学共通テストで平均点以上の学力を目標とする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・文	書	読					
1 学 期	論理 多様性のほうへ 文学 物語が生まれる場所  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「ビジンという生き方」菅啓次郎 「小説とは何か」三島由紀夫 「物語と歴史のあいだ」野家啓一  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	文学 交差するドラマ 論理 可視化する力  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「貨幣共同体」岩井克人 「真実の百面相」大森荘蔵 「靴」安部公房  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1	
2 学 期	論理 語りと世界 文学 表現を突き詰める  【知識・技能】 ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解を深める。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・内容や構成、論理の展開をふまえながら要旨を把握する。 ・主張を支える根拠や結論を導く論拠をとらえるとともに、批判的に検討する。 ・文学的文章の効果を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝える。	「物語としての自己」野口裕二 「無常ということ」小林秀雄 「絵画の二十世紀」前田英樹  文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査					○	○		1	



年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 古典探求演習

教科：国語 科目：古典探求演習 単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 B組、E組～H組

使用教科書：「精選 古典探求」（大修館書店）

教科 国語の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 古典探求演習の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。大学入学共通テストで平均点以上の学力を目標とする。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わる態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	説話 随筆 故事 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深める。	古今著聞集「源義家～」 今昔物語集「馬盗人」 枕草子 「うれしきもの」「二月のつごもりごろに」 故事逸話「水魚の交はり」 重要古語 文法（助詞助動詞、敬語） 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 漢文重要語彙、句法、 の理解習熟、定着	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1
	随筆 物語 漢詩 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品に表れている、言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質について理解を深める。	枕草子 「頭の弁の～」 「この草子～」 堤中納言物語 「虫めづる姫君」 大鏡 「肝だめし」 重要古語 文法（助詞助動詞、敬語） 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 漢文重要語彙、句法、 の理解習熟、定着	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりなど、古典特有の表現などについて理解している。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	20
	定期考査						○	○		1



年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年) 教科 国語 科目 選択・現代文演習

教科: 国語 科目: 選択・現代文演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 「論理国語」(筑摩書房)

教科 国語の目標:

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける
- 【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 論理国語の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。大学入試共通テスト平均点以上の学力を身に着ける。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。大学入試、共通テストレベルの学力を身に着ける。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学期	評論 小説  【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、資料などの関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	「批評という鬱」三浦雅士 「半落ち」横山秀夫 「世界と地球」山下勲 他問題演習  テキストの展開に留意し、段落の大意をつかみながらよむ。 接続詞の働きを意識し、論理的文章の読解を行う。 心象表現・比喩表現について理解を深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしたか。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	評論 小説  【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、資料などの関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	「音楽展望」吉田秀和 「寝ながら学べる構造主義」内田樹 「死化粧」渡辺淳一 他問題演習  テキストの展開に留意し、段落の大意をつかみながらよむ。 芸術論・認識論等様々な評論に触れ、各論の現代文における潮流を意識する。 評論の頻出語等の意味に注意し、語彙を増やす。 心象表現・比喩表現について理解を深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしたか。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1	
2 学期	評論 小説  【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、資料などの関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 ・人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習課題に沿って、粘り強く筆者の主張をとらえようとする。	「虚教の情緒」吉田武 「麦藁帽子」津村節子 「脱出と回帰」中井正一 他問題演習  テキストの展開に留意し、段落の大意をつかみながらよむ。 科学論・文化論等多様な評論に触れ、各論の現代における潮流を意識する。 心象表現・比喩表現について理解を深める。	○	○	○	・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基的に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。 ・積極的に要旨を把握し、学習課題に沿って批評しようとしたか。	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1



年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年) 教科

国語

科目 選択・古典研究

教科: 国語

科目: 選択・古典研究

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 「精選 古典探求」(大修館書店)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 選択・古文研究の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。大学入試共通テスト平均点以上のレベルを目指す。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。大学入試、共通テストレベルを目指す。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
物語 説話 漢文 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古文、漢文に特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に興味をもち、多様な価値観を読み取る。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解する。	①錦木物語 ②なよ竹物語絵巻 ③十訓抄 ④漢文 容斎藤随筆 他  重要古語 文法(助詞助動詞、敬語) 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 漢文重要語 漢文句法 の理解習熟、定着	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたか。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりなど、古典特有の表現などについて理解したか。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1
1 学期 紀行文 歌物語 物語 漢文 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古文、漢文に特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に興味をもち、多様な価値観を読み取る。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解する。	⑤千種物語 ⑥伊勢物語 ⑦源氏物語 ⑧漢文 貞観政要 韓非子他  重要古語 文法(助詞助動詞、敬語) 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 漢文重要語 漢文句法 の理解習熟、定着	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたか。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりなど、古典特有の表現などについて理解したか。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1
物語 軍記物語 日記 【知識・技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古文、漢文に特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に興味をもち、多様な価値観を読み取る。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解する。	⑨石清水物語 ⑩太平記 ⑪蜻蛉日記 ⑫漢文 唐語林 他  重要古語 文法(助詞助動詞、敬語) 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 漢文重要語 漢文句法 の理解習熟、定着	○	○	○	・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたか。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりなど、古典特有の表現などについて理解したか。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。	○	○	○	13



年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年) 教科 国語 科目 選択・古文研究

教科: 国語 科目: 選択・古文研究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 「精選 古典探求」(大修館書店)

教科 国語の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

科目 選択・古文研究の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。大学入試共通テスト平均点以上のレベルを目指す。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。大学入試、共通テストレベルを目指す。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
紀行文 物語 説話 随筆 【知識・技能】 ・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古文特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に興味をもち、多様な価値観を読み取る。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解する。	①都のつと ②源氏物語 ③宇治拾遺物語 ④国文世々のあと ⑤閑居友 ⑥雑多集  重要古語 文法(助詞助動詞、敬語) 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 の理解習熟、定着	○	○	○	・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたか。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや古文特有の表現などについて理解したか。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1
1 学期 物語 歌物語 軍記物語 歌文集 随筆 【知識・技能】 ・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまり、特有の表現などについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古文特有の表現に注意して内容を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・古典文学に興味をもち、多様な価値観を読み取る。 ・古典文学と現代のさまざまな作品とのつながりを理解する。	⑦竹取物語 ⑧とりかへばや物語 ⑨載恩記 ⑩大和物語 ⑪鈴屋文集 ⑫平家物語  重要古語 文法(助詞助動詞、敬語) 和歌の修辞 主語判定 古文常識、文学史 の理解習熟、定着	○	○	○	・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し、読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたか。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや古文特有の表現などについて理解したか。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握したか。	○	○	○	13
定期考査						○	○		1



# 地理歷史·公民





高等学校 令和8年度（1学年）教科

地理歴史科 科目 歴史総合

教科：地理歴史科

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（私たちの歴史総合）

教科 歴史総合の目標

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、資料を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象について多面的・多角的に考察し、その結果を効果的にまとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理的・歴史の見方・考え方を用いて、主体的に社会の課題を考察・解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学 期	第1編 歴史の扉 【思考・判断・表現】 身近なものを題材に歴史の変化と関わらせて考察し、表現できる。	第1編 歴史の扉 歴史と私たち	【思考・判断・表現】 身近なものを題材に近代化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。			○	2		
	第2編 近代化と私たち 【知識・技能】 世界が一体化による政治的・経済的な結びつきを理解する。 【思考・判断・表現】 諸資料から国民国家の特徴と明治維新の影響、貿易の拡大が近代化にあたえた影響について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の形成過程と明治維新の意義について、見通しをもって学習に取り組むことができる。	第2編 近代化と私たち 1 生活や社会の変化を読み取ってみよう 2 結びつく世界と日本 3 国民国家と明治維新	【思考・判断・表現】 諸資料から交通の発達や貿易の拡大が近代化にあたえた影響について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 交通の発達や貿易の拡大について、見通しをもって学習に取り組もうとしている。			○	○	2	
	定期考査(学年共通問題)				○	○		1	
	【思考・判断・表現】 諸資料から、世界的視点から見た日清・日露戦争と、列強の以後気について考察できる。 【知識・技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解する。	4 近代化と現代的な諸課題 第3編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 2 第一次世界大戦と国際社会	【知識・技能】 世界的視点から見た日清・日露戦争と列強の動きについて理解している。 【知識・技能】 資料を利用し、第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解している。			○	○	○	8
	定期考査(学年共通問題)				○	○		1	
	2 学 期	【知識・技能】 世界恐慌や金融恐慌、ファシズムの台頭と日中戦争と国内外の動きにもとづいて、第二次世界大戦の起こった背景や人々の生活への影響について理解する。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、多面的・多角的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、意欲的に追究できる。	3 経済危機と第二次世界大戦	【知識・技能】 世界恐慌や金融恐慌、ファシズムの台頭と日中戦争と国内外の動きにもとづいて、第二次世界大戦の起こった背景や人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、多面的・多角的に追究しようとしている。			○	○	11
定期考査(学年共通問題)					○	○		1	
D グローバル化と私たち 【知識・技能】 第二次世界大戦後、日本や国際社会がどのように国家体制や国際関係を構築してきたかを理解する。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦後の国際関係の変化を考察し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 核開発競争について、見通しをもって学習に取り組むことができる。		2 冷戦と世界経済 3 世界秩序の変容と日本	【知識・技能】 世界恐慌や金融恐慌、ファシズムの台頭と日中戦争と国内外の動きにもとづいて、第二次世界大戦の起こった背景や人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、多面的・多角的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしたかについて、多面的・多角的に追究しようとしている。		○			6	
定期考査					○	○		1	

<b>3 学 期</b>	D グローバル化と私たち 【知識・技能】 第二次世界大戦後、日本や国際社会がどのように国家体制や国際関係を構築してきたかを理解する。	4 現代的な諸課題の形成と展望	【知識・技能】 資料を利用して、第二次世界大戦後、日本や国際社会がどのように国家体制や国際関係を構築してきたかを理解している。	○		5
	D グローバル化と私たち 【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして主題について考察、構想し、表現できる。		【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響に着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連づけたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして主題について考察、構想し、表現している。		○	8
	D グローバル化と私たち 【主体的に学習に取り組む態度】 分析や考察の結果を他者と共有・比較して、自分の考えをより良いものに改善できる。		【主体的に学習に取り組む態度】 分析や考察の結果を他者と共有したり、比較したりして、自分の考えをより良いものに改善しようとしている。			○
	定期考査(学年共通問題)			○	○	1
						合計
						70

**高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 地歴公民科 科目 世界史探究**

教科：地歴公民科 科目：世界史探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 組～組 文系かつ世界史探究選択者

使用教科書：(世探704 詳説 世界史探究(山川出版社))

教科 地歴公民科 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目 世界史探究 の目標：進研模試で全国偏差値60点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<b>A 諸地域の歴史的特質の形成</b> <b>【知識及び技能】</b> 今日の世界で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 日常生活と世界史のつながりに関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	・世界史へのまなざし1 ・世界史へのまなざし2  <b>【教材等】</b> ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	<b>【知識・技能】</b> 今日の世界で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。  <b>【思考・判断・表現】</b> 日常生活のなかに世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 日常生活と世界史のつながりに関して、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	3
<b>1 章文明の成立と古代文明の特質</b> <b>【知識・技能】</b> 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けている。 <b>【思考・判断・表現】</b> 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組んでいる。	<b>1 章文明の成立と古代文明の特質</b> 1 文明の誕生 2 古代オリエント文明とその周辺 3 南アジアの古代文明 4 中国の古代文明 5 南北アメリカ文明  <b>【教材等】</b> ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	<b>【知識・技能】</b> 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付けているか。  <b>【思考・判断・表現】</b> 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1
<b>1 学期</b> <b>2 章中央ユーラシアと東アジア世界</b> <b>【知識・技能】</b> 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活や、周辺の諸勢力との関係や、中国史との関連の中で理解する。 <b>【思考・判断・表現】</b> 風土を示す写真や資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	<b>2 章中央ユーラシアと東アジア世界</b> 1 中央ユーラシア 2 秦・漢帝国 3 中国の動乱と変容 4 東アジア文化圏の形成  <b>【教材等】</b> ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布	<b>【知識・技能】</b> 中央ユーラシアの厳しい環境に適応した遊牧民やオアシス民の生活のありさまや、彼らの周辺の諸勢力との関係や、中国史との関連の中で理解している。  <b>【思考・判断・表現】</b> 風土を示す写真や『史記』匈奴列伝などの資料をもとに、中央ユーラシアの人々の動向が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 中央ユーラシアの動向あは東アジア文化圏について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	16

	<p><b>3章南アジア世界と東南アジア世界の展開</b></p> <p>【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や資料をもとに、インド洋交易の広がりと、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p> <p>定期考査</p>	<p><b>3章南アジア世界と東南アジア世界の展開</b></p> <p>1 仏教の成立と南アジアの統一国家 2 インド古典文化とヒンドゥー教の定着 3 東南アジア世界の形成と展開</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 南アジアで生まれた様々な宗教が、南アジアの社会や周辺諸地域へ与えた影響や南アジアの大陸部と諸島部において、どのように国家が形成されたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 インド洋航海図（地図）や『エリュトラー海案内記』等の資料をもとに、インド洋交易の広がりと、東南アジアの風土や地形をふまえたうえで、南アジアや中国との関係およびその変遷を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアで生まれた諸宗教や東南アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p><b>4章西アジアと地中海周辺の国家形成</b></p> <p>【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p><b>4章西アジアと地中海周辺の国家形成</b></p> <p>1 イラン諸国家の興亡とイラン文明 2 ギリシア人の都市国家 3 ローマと地中海世界 4 キリスト教の成立と発展</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 イラン諸国家がそれぞれどのように興亡したのか、ギリシア世界と民主政の発展、古代ローマ世界の形成過程と特長、キリスト教について理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教の特徴等について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イラン文明の興亡、古代ギリシア・ローマ、キリスト教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	18
	<p><b>5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</b></p> <p>【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形成したのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p> <p>定期考査</p>	<p><b>5章イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成</b></p> <p>1 アラブの大征服とイスラーム政権の成立 2 ヨーロッパ世界の形成</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 イスラームの成立と世界の特質について、西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が西アジアや北アフリカの社会に与えた影響とヨーロッパの封建制の特質について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
2 学 期	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p><b>B 諸地域の興隆・再編</b> <b>6章イスラーム教の伝播と西アジアの動向</b></p> <p>【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおぼした影響を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p><b>6章イスラーム教の伝播と西アジアの動向</b></p> <p>1 イスラーム教の諸地域への伝播 2 西アジアの動向</p> <p>【教材等】 ・教科書・図説・準拠ノート ・一人一台端末の活用 ・適宜プリントを配布</p>	<p>【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカ・西アジアの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割や、外圧が西アジアの社会へおぼした影響を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラームの伝播や変動する西アジアの情勢について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10



**高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究**

教科： 地理歴史 科目： 日本史探究 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 （日本史探究選択の履修クラス）

使用教科書： （『詳説日本史』（山川出版社））

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、資料を調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象について多面的・多角的に考察し、その結果を効果的にまとめる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理的・歴史の見方・考え方をを用いて、主体的に社会の課題を考察・解決しようとする態度を養う。

科目 日本史探究 の目標： 【活動目標】 探究活動でレポート等の成果として完成できる。 【数値目標】 全国偏差値60以上獲得できる。 進研模試で全国偏差値60以上獲得できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互関連や現代とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握して解決を視野に入れて構想する力、それらを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】 大単元Aの内容について基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>指導項目 ・ガイダンス ・大単元A「先史・古代の日本と東アジア」 ・「先史社会の生活と文化」</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT ・特別教室等</p>	<p>【知識及び技能】 基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を働かせることができ、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを相手に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	5
	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解し、関係する知識を身に付ける。諸資料から必要な情報を読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>指導項目 ・大単元A「先史・古代の日本と東アジア」 ・「歴史資料と先史・古代の展望」 ・「古代社会の形成と展開」</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT ・特別教室等 探究発表への準備 ・テーマや課題、仮説の設定と推敲</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	25
	定期考査			○	○		1
	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解し、関係する知識を身に付ける。諸資料から必要な情報を読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>指導項目 ・大単元A「先史・古代の日本と東アジア」 ・「古代社会の形成と展開」</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT ・特別教室等 探究発表への準備 ・テーマや課題、仮説の設定と推敲</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	29
定期考査			○	○		1	
	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解し、関係する知識を身に付ける。諸資料から必要な情報を読み取る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>指導項目 ・大単元B「中世の日本と世界」 ・「中世社会の成立」 ・「歴史資料と中世の展望」</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT ・特別教室等</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	10



高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科: 公民 科目: 公共 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ H組

使用教科書: (改訂版 公共 [数研出版])

教科 公民

の目標:

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、民主主義を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共

の目標: 進研模試で全国偏差値60点上り得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主義を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 公共的な空間をつくる私たち 1-1 【知識及び技能】 ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己形成の課題について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよく生きることについての自覚を深め、社会の一員として自分の生き方を選択し、自己実現をめざす。	・青年期と自己形成 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・青年期は自立や自律をはかる重要な時期であることを理解できている。 【思考・判断・表現】 ・自己形成の課題について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよく生きることについての自覚を深められている。 ・社会の一員としての自覚を深め、自分の生き方を選択し、自己実現がめざせている。	○	○	○	2
1-2 【知識・技能】 ・古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究する。	・人間としての自覚 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・古代ギリシアや中国の思想家の思想や三大宗教の内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先哲の思想や宗教が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・先哲の思想や生き方から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。	○	○	○	2
1-3 【知識・技能】 ・古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統思想や文化、受容した外来思想から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究する。	・日本人としての自覚 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・古代・中世・近世・近代の日本の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・生活文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響について気付くことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統思想や文化、受容した外来思想から自分自身の生き方を検証し、参考にできることはないか主体的に追究できている。	○	○	○	2
2 公共的な空間における人間としての在り方生き方 2-1 【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容を理解する。 【思考・判断・表現】 ・先人の生き方を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につける。	・西洋近代の思想 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・近世・近代・現代の世界の思想家の思想内容が理解できている。 【思考・判断・表現】 ・先人の生き方を通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方が考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・選択・判断の手掛かりとなる考え方を理解し身につけようとしている。	○	○	○	4
1 定期考査			○	○		1

二期	<p>2-2</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりを考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題と倫理</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、現代の諸課題を主体的に追究できている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>3 公共的な空間における基本原理</p> <p>3-1</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法などの社会規範の役割を理解し、日常生活と関連づけて考察する。</li> <li>・民主政治のあゆみを理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治における国家と個人のあり方を考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民主社会の基本原則</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法などの社会規範の役割が理解でき、日常生活と関連づけて考察できている。</li> <li>・民主政治のあゆみが理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治における国家と個人のあり方が考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民主政治が自らの生活とかかわっていることを理解し、民主社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>3-2</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の三大原理や第9条の内容を理解する。</li> <li>・日本国憲法で保障されている権利を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察する。</li> <li>・国際情勢の変化にともない、日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女間や国籍の違いなど、身近なところで人権が保障されているか新聞記事などで調べ、報告する。</li> <li>・日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方について、自分なりに構想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本社会の基本原則</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の三大原理や第9条の内容が理解できている。</li> <li>・日本国憲法で保障されている権利が理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法で保障されている権利がどのような具体的事件に適用されているのかを調べ、その保障と他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。</li> <li>・国際情勢の変化にともない、日本の平和主義のあり方がどう変化していったのか考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女間や国籍の違いなど、身近なところで人権が保障されているか新聞記事などで調べ、報告できている。</li> <li>・日本国憲法の基本原理に基づいた社会のあり方について、自分なりに構想できている。</li> </ul>	○	○	○	4
定期考査				○	○		1
	<p>4 現代の民主政治と政治参加の意義</p> <p>4-1</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割を理解する。</li> <li>・行政機能が拡大している現状を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機能拡大の是非について主体的に考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち、裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の政治機構</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法に見られる三権相互の関係とそれぞれの役割が理解できている。</li> <li>・行政機能が拡大している現状を理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政機能拡大の是非について主体的に考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬裁判などを通して、司法に関心を持ち、裁判員制度の意義をふまえて積極的に参画する自覚を持つことができている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>4-2</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙のしくみを理解する。</li> <li>・政党の役割を理解する。</li> <li>・地方自治の現状と課題を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付く。</li> <li>・各党の綱領を調べ、その政策を知る。</li> <li>・日本の政治について課題を発見し、解決する見通しを持つ。</li> <li>・住民投票など身近な地域で行われている例を調べ、報告する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の見学や住民運動・消費者運動など、身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲を持つ。</li> <li>・模擬投票などにより、政党や選挙を身近に捉える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政治参加と民主政治の課題</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙のしくみが理解できている。</li> <li>・政党の役割を理解できている。</li> <li>・地方自治の現状と課題が理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙制度によって政党政治の形態が変化することに気付くことができている。</li> <li>・各党の綱領を調べ、その政策を知ることができる。</li> <li>・日本の政治について課題を発見し、解決する見通しを持っている。</li> <li>・住民投票など身近な地域で行われている例を調べ、報告できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の見学や住民運動・消費者運動など、身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲を持つことができている。</li> <li>・模擬投票などの実施により、政党や選挙を身近に捉えることができている。</li> </ul>	○	○	○	4

2 学 期	<p>5 現代の経済社会と経済活動のあり方 5-1</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業の果たしている役割を理解する。</li> <li>市場経済のメカニズムを理解する。</li> <li>各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解く。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業倫理について考察する。</li> <li>現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分を判断する。</li> <li>需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く、市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済のしくみと市場機構</li> <li>教材 教科書、図説</li> <li>一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業の果たしている役割が理解できている。</li> <li>市場経済のメカニズムが理解できている。</li> <li>各種経済指標を理解し、その指標の動向を読み解くことができている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現代の企業倫理について考察できている。</li> <li>現代の資本主義経済でケインズ主義の有効な部分と改善すべき部分が判断できている。</li> <li>需給曲線を使って、どのような場合に価格が変動するのか考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市場機構だけでは解決できない経済的課題も多く、市場機構を修正している具体例を指摘でき自らの生活と結び付けて経済と接することができる。</li> </ul>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	<p>5-2</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府が経済に果たしている役割を理解する。</li> <li>金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断する。</li> <li>不況や好況など景気の先行きが判断でき、自ら経済の動向を予測する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税や所得税などの税金の使途に関心を持つ。</li> <li>超低金利が続く日本社会の現状について主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政と金融</li> <li>教材 教科書、図説</li> <li>一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>政府が経済に果たしている役割を理解できている。</li> <li>金融・財政のしくみを理解し、経済状況に応じて適切な手段を提示できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GDPが大きいことが豊かさにつながるのかどうか、豊かさについて自分なりに判断できている。</li> <li>不況や好況など景気の先行きが判断でき、自ら経済の動向を予測できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費税や所得税などの税金の使途に関心を持っている。</li> <li>超低金利が続く日本社会の現状について主体的に追究できている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>5-3</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後日本経済のあゆみを理解する。</li> <li>産業構造の変化と職業選択との関係や、中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しをたてる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本経済の発展と変化</li> <li>教材 教科書、図説</li> <li>一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦後日本経済のあゆみが理解できている。</li> <li>産業構造の変化と職業選択との関係や、中小企業や農業の果たしている役割と現状を理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済のサービス化が進展し、国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経済社会に主体的に生きる一員として、今後の日本経済について見通しがたてられている。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>5-4</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私法・契約の原則やその修正について理解する。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障について理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公害がなぜ発生したのかを考察する。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し、解決の方法を考察する。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>失業率や公共事業のあり方に関心を持ち、新聞などで情報を集め、意欲的に現在の日本経済を探究する。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障・福祉の課題について主体的に追究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かな生活と福祉の実現</li> <li>教材 教科書、図説</li> <li>一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>私法・契約の原則やその修正について理解できている。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公害がなぜ発生したのかを考察できている。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障・福祉について課題を発見し、解決の方法を考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>失業率や公共事業のあり方に関心を持ち、新聞などで情報を集め、意欲的に現在の日本経済を探究できている。</li> <li>雇用・労働問題や社会保障・福祉の課題について主体的に追究できている。</li> </ul>	○	○	○	7

	6 国際社会の動向と日本の役割 6-1 【知識・技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割を理解する。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割を理解する。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れを理解する。 【思考・判断・表現】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのかを考察する。 ・国連の現状と課題について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか、自ら意見を持ち他者と意見の交流をする。 ・国際社会のなかで戦後日本の歩みを考察し、将来の展望を持つ。	・国際政治の動向 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割が理解できている。 ・国際連盟・国際連合の組織と役割が理解できている。 ・冷戦の成立とその終結後の国際政治の流れが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・集団的安全保障がなぜ有効なのかを考察できている。 ・国連の現状と課題について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会で平和と安全を維持するため何が有効なのか、自ら意見を持ち他者と意見の交流ができている。 ・国際社会のなかで戦後日本の歩みを考察し、将来の展望を持てている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
3 学 期	6-2 【知識・技能】 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割を理解する。 ・核軍拡から核軍縮への流れを理解する。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解する。 【思考・判断・表現】 ・留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持つ。 ・留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について主体的に追究する。	・国際政治の課題と日本の役割 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・国際社会の中で平和主義を掲げる日本の役割が理解できている。 ・核軍拡から核軍縮への流れが理解できている。 ・現代の世界の紛争や人権問題について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について判断できている。 ・国際問題について自分なりの意見を持ち、他者に説明できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・民族紛争や難民問題など国際政治問題について日常から関心を持てている。 ・留学生や国際NGOと接することにより、国際化を身近に体験し、国際社会の諸問題について主体的に追究できている。				5
	6-3 【知識・技能】 ・貿易や外国為替相場について、そのしくみを理解する。 ・戦後の国際経済の流れを理解する。 ・地域経済統合が進んでいる世界の現状を理解する。 ・外務省や国連のホームページなどを参照し、国際社会や各国の課題を知る。 【思考・判断・表現】 ・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのかを考察する。 ・発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発展途上国の貧困・飢餓や国際社会における日本の役割について関心を持つ。 ・国際社会の課題について主体的に追究する。 ・グローバル化した国際経済について自分なりの課題や展望を持つ。	・国際経済の動向と国際協力 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・貿易や外国為替相場について、そのしくみが理解できている。 ・戦後の国際経済の流れが理解できている。 ・地域経済統合が進んでいる世界の現状が理解できている。 ・外務省や国連のホームページなどを参照し、国際社会や各国の課題を知ることができる。 【思考・判断・表現】 ・円高などの為替相場の変動が経済にどのような影響を与えるのかを考察できている。 ・発展途上国の現状を知り、貧困や飢餓などの克服のために自らがどのようなことができるか考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・発展途上国の貧困・飢餓や国際社会における日本の役割について関心を持てている。 ・国際社会の課題について主体的に追究できている。 ・グローバル化した国際経済について自分なりの課題や展望が持てている。	○	○	○	5
	7 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 7-1 【知識・技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘する。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などを理解する。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究する。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持つ。	・課題探究の観点 ・教材 教科書、図説 ・一人1 台端末の活用	【知識・技能】 ・現代社会に生きる私たちの課題を指摘できている。 ・現代社会の諸問題について、その問題の所在、現状、問題点などが理解できている。 【思考・判断・表現】 ・現代社会の諸問題の解決のために、事実を基に協働して考察、構想することができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・さまざまな課題の中で、自己とのかかわりに注目して主体的に課題を選択し、探究できている。 ・それぞれが選択した課題について、今後も継続して探究しようという意欲を持てている。	○	○	○	1

<p>7-2</p> <p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸問題について、探究するための資料を収集・選択し、的確に分析する。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによつて的確に表現する。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題探究の手引き</li> <li>・教材 教科書、図説</li> <li>・一人1 台端末の活用</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸問題について、探究するための資料を収集・選択し、的確に分析できている。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の諸問題を多角的・多面的に考察し、その内容をレポートや口頭発表などによつて的確に表現できている。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代社会の特質から生じる価値の対立について、討論やディベートなどさまざまな方法を活用して主体的に探究できている。</li> </ul>	○	○	○	1
定期考査			○	○		1
						合計
						70

# 高等学校 令和8年度（3学年用）教科 地理歴史科 科目 世界史演習

教科： 地理歴史科      科目： 世界史演習      単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 文系かつ2年次で世界史探究を履修した生徒

使用教科書： ( 世探704 詳説 世界史探究 (山川出版社) )

教科 世界史探究演習 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目 世界史探究演習 の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2 第二次世界大戦 3 新しい国際秩序の形成 ・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等 ・一人1 台端末の活用して、調べ学習や探究活動を適宜行う。	【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。	○	○	○	10
単元 第18章 冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 ・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等 ・一人1 台端末の活用して、調べ学習や探究活動を適宜行う。	【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
1 学期 単元 第18章 冷戦と第三世界の台頭 【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	1 冷戦の展開 2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺 ・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等 ・一人1 台端末の活用して、調べ学習や探究活動を適宜行う。	【知識及び技能】 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。	○	○	○	12



**高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史科 科目 世界史探究演習**

教科： 地理歴史科                      科目： 世界史探究演習                      単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年    文系かつ2年次で世界史探究を履修した生徒

使用教科書： ( 世探704 詳説 世界史探究 (山川出版社) )

教科 世界史探究演習                      の目標：

**【知識及び技能】** 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

**【思考力、判断力、表現力等】** 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

**【学びに向かう力、人間性等】** 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うと共に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚等を深める。

科目 世界史探究演習                      の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
<p>単元 第10章 アジアの諸帝国の繁栄</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>1 オスマン帝国とサファヴィー朝</p> <p>2 ムガル帝国の興隆</p> <p>3 清代の中国と隣接諸地域</p> <p>・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等</p> <p>・一人1台端末の活用して、調べ学習 や探究活動を適宜行う。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	20
<p>単元 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>1 ルネサンス</p> <p>2 宗教改革</p> <p>3 主権国家体制の成立</p> <p>4 オランダ・イギリス・フランスの台頭</p> <p>5 北欧・東欧の動向</p> <p>6 科学革命と啓蒙思想</p> <p>・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等</p> <p>・一人1台端末の活用して、調べ学習 や探究活動を適宜行う。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	23
<p>1学期 定期考査</p>			○	○		1
<p>単元 第13章 イギリスの優位と欧米 国民国家の形成</p> <p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現する。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	<p>1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・ 社会の変動</p> <p>2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</p> <p>3 アメリカ合衆国の発展</p> <p>4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄</p> <p>・教材 資料集 準拠ノート 用語集 配布プリント 等</p> <p>・一人1台端末の活用して、調べ学習 や探究活動を適宜行う。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> 大単元の内容について基礎的知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付けているか。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを多角的・多面的に表現しているか。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	22



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

地理歴史科 科目 日本史演習

教科： 地理歴史科 科目： 日本史演習 単位数： 2 単位 2

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

使用教科書： ( 『日本史探究』東京書籍 )

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、資料を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象について多面的・多角的に考察し、その結果を効果的にまとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理的・歴史的見方・考え方をを用いて、主体的に社会の課題を考察・解決しようとする態度を養う。

科目 日本史演習 の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
歴史的事象の見方・考え方を実際の史資料を通じて育成して、問題解答に結び付ける思考プロセスを身に付けさせる。 大学入試に必要な歴史用語や概念を習得させる。	我が国の歴史展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互関連や現代とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握して解決を視野に入れて構想する力、それらを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。探究活動を通じて適切に資質・能力を育成する。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。探究活動を通じて、歴史に向き合う姿勢と人間性を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・南北朝時代から戦国時代までの講義と問題演習を行う。 →副教材や史資料を使った問題演習 ・探究活動の計画やテーマの設定を行わせる。	・内容に関して、史資料や基礎的な入試問題を通じて分析・演習・解説を行う。 ・近現代史における探究活動の計画とテーマ設定	・歴史的な見方・考え方が史資料を通じて適切に身につけているかを、演習の解答過程等を通じて把握する。 ・探究活動の計画やテーマ設定が適切にできているか、提出課題で確認する。	○	○	○	17
	・織豊政権から江戸時代初期までの講義と問題演習を行う。 ・副教材や史資料を使った問題演習 ・探究活動の計画やテーマの設定を行わせる。	・内容に関して、史資料や基礎的な入試問題を通じて分析・演習・解説を行う。 ・近現代史における探究活動の計画とテーマ設定	・歴史的な見方・考え方が史資料を通じて適切に身につけているかを、テスト等を通じて把握する。 ・探究活動の計画やテーマ設定が適切にできているか、提出課題で確認する。	○	○	○	17
	・南北朝時代から戦国時代までの講義			○	○		1
2 学期	江戸時代についての講義と問題演習を行う。 ・副教材や史資料を使った問題演習 ・探究活動を進める。	・内容に関して、史資料や基礎的な入試問題を通じて分析・演習・解説を行う。 ・探究活動の実施	歴史的な見方・考え方が史資料を通じて適切に身につけているかを、テスト等を通じて把握する。 ・探究活動が計画やテーマに沿って実施されているか、提出課題等から確認する。	○	○	○	17
	歴史総合 ・主に私立大学の入試の過去問題、全国共通テストの過去問題についての指導 ・探究活動をまとめる。	・主に私立大学の入試を見据えて具体的なポイントを解説しつつ、過去問題の分析・演習・解説を行う。 ・直前の共通テストに向けて事項の総復習と、過去問題の演習を行う。 ・探究活動の成果発表	歴史的な見方・考え方が史資料を通じて適切に身につけているかを、テスト等を通じて把握する。 ・探究活動が計画やテーマに沿って実施され、近現代史への理解が深まっていたか、発表および提出課題等から確認する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学期	歴史総合 ・主に私立大学の入試の過去問題、全国共通テストの過去問題についての指導	・直前の共通テストに向けて事項の総復習と、過去問題の演習を行う。 ・主に私立大学の入試を見据えて具体的なポイントを解説しつつ、過去問題の分析・演習・解説を行う。	歴史的な見方・考え方が史資料を通じて適切に身につけているかを、テスト等を通じて把握する。	○	○		4
合計							70

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

地理歴史科 科目 日本史探究演習

教科： 地理歴史科 科目： 日本史探究演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 B 組～ H 組

使用教科書： ( 『日本史探究』 東京書籍 )

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、資料を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象について多面的・多角的に考察し、その結果を効果的にまとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理的・歴史の見方・考え方をを用いて、主体的に社会の課題を考察・解決しようとする態度を養う。

科目 日本史探究演習 の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に理解する。諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互関連や現代とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握して解決を視野に入れて構想する力、それらを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】 大単元Dの内容について基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>・ガイダンス</p> <p>・大単元D「近現代の地域・日本と世界」 (1) 「近代への転換と歴史的環境」：「歴史総合」の学習を踏まえ、幕末から近代初頭の時期における時代の転換について考察し、探究に向けた時代を通観する問いを表現する学習</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	34
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】 大単元Dの内容について基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>(2) 「歴史資料と近代の展望」：(1) で表現した時代を通観する問いを踏まえ、歴史資料を活用して近代の特色についての仮説を表現する</p> <p>(3) 「近現代の地域・日本と世界の画期と構造」：近代から現代に至る国家や社会の展開について、主題を設定し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する</p> <p>(7) 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	34
定期考査			○	○		1
<p>【知識及び技能】 大単元Dの内容について基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>(3) 「近現代の地域・日本と世界の画期と構造」：近代から現代に至る国家や社会の展開について、主題を設定し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する</p> <p>(4) 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生、大衆社会の形成</p> <p>(9) 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	34
定期考査			○	○		1

2 学期	<p>【知識及び技能】 大単元Dの内容について基礎的事項の知識を身に付け、諸資料の基本的な扱い方を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を身に付け、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組む。</p>	<p>(3) 「近現代の地域・日本と世界の画期と構造」：近代から現代に至る国家や社会の展開について、主題を設定し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する (エ) 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化 (4) 「現代の日本の課題の探究」では、これまでの学習を踏まえ、① 社会や集団と個人、② 世界の中の日本、③ 伝統や文化の継承と創造までについて主題を設定し、諸資料を活用して探究する</p> <p>教材等 ・副教材、ワークシート、ICT</p>	<p>【知識及び技能】 大単元の内容について事象を理解でき、関係する知識を身に付けている。諸資料から必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歴史的な見方・考え方を養い、諸資料や事象の展開を適切に判断し、理解したことや考察したことを他者に伝えるように表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自ら課題を把握して解決に向けて主体的・協働的に取り組むことができている。</p>	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
3 学期		問題演習					8
						合計	140

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

地理歴史科 科目 地理探究

教科：地理歴史科

科目：地理探究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

使用教科書：（地理探究（山川出版社）、詳解現代地図最新版（山川出版社））

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、資料を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象について多面的・多角的に考察し、その結果を効果的にまとめる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理的・歴史の見方・考え方をういて、主体的に社会の課題を考察・解決しようとする態度を養う。

科目 地理探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して規則性、傾向性や、地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察、説明する力を養い、共通テストで平均点以上得点する。	よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 自然環境 【知識及び技能】 地形の特徴と形成過程を理解する。地形図の読図ができる。 雨温図やハイサーグラフを読取ることができる。 自然災害や地球環境問題についてGISなどを用いて情報をまとめることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 地形や気候の特徴と生活のかかわりを考察することができる。 自然災害に対応する方法を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に、地形図や雨温図などの読取り練習をする。自然災害に対し、具体的に自助・共助・公助として自らがすべきことを示すことができる。	・地形や気候と生態系に関わる諸事象の地域性や規則性を理解し、自然と生活のかかわり、自然災害と防災について、地図や統計、GISを用いて考察しまとめる。地球環境問題の現状と対策を調べまとめることができる。 ・教科書、地図帳、補助教材 ・一人1台端末の活用 入試問題プリント 等	【知識・技能】 ・地形図の読図ができる。雨温図やハイサーグラフを読取ることができる。 【思考・判断・表現】 ・地形や気候の特徴と生活のかかわりを考察することができる。GISを活用し、自然災害発生の危険度の高い地域の対応策や地球環境問題をまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に地形図の読図練習や気候のグラフの読取り練習に取り組むことができる。 ・自然災害に対し、自らがすべきことを具体的にまとめて、示すことができる。 ・地球環境問題の解決策を具体的に考察することができる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
第2章 資源と産業 【知識及び技能】 農林水産業、資源・エネルギー、工業、第3次産業の発展過程や生産の状況について分布図や統計を用いて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 農林水産業、資源・エネルギー、工業、第3次産業の発展過程や生産の状況について分布図や統計を考察し、各産業の立地条件や課題を多面的に分析することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 分布図や統計を積極的に活用し、考察・分析することができる。産業について見出した課題の解決策を模索することができる。	・農林水産業、資源・エネルギー、工業、第3次産業の発展過程や生産の状況について分布図や統計を用いて理解し、立地条件や課題を考察しまとめることができる。 ・教科書、地図帳、補助教材 ・一人1台端末の活用 入試問題プリント 等	【知識・技能】 ・農林水産業、資源・エネルギー、工業、第3次産業に関わる統計や分布図を読取ることができる。 【思考・判断・表現】 ・農林水産業、資源・エネルギー、工業、第3次産業に関わる統計や分布図を読取った結果を分析し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・分布図や統計を積極的に活用することができる。産業について見出した課題の解決策を模索することができる。	○	○	○	9
第3章 人・モノ・金のつながり 【知識及び技能】 交通・通信の発展過程と地域性を理解する。貿易や観光について流線図や統計を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信の発展過程と地域性を統計から判断することができる。貿易や観光について流線図や統計から特徴と課題を見出すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に統計や分布図を活用することができる。見出した課題について解決策を探究することができる。	・統計を活用して交通・通信の発達や貿易、観光について空間的な広がりや課題について、多面的に考察できる。 ・教科書、地図帳、補助教材 ・一人1台端末の活用 入試問題プリント 等	【知識・技能】 交通・通信、貿易、観光についての統計から地域や国による差異を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 交通・通信、貿易、観光についての統計から地域や国による特徴をまとめ、課題を見出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自主的に統計や分布図の活用に取り組み、課題についての解決策を探究することができる。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1



高等学校 令和 8 年度 (3 学年用) 教科

公民科

科目 公共演習

教科 : 公民科

科目 : 公共演習

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 3 学年 組 ~ 組

使用教科書 : ( )

教科 公民科

の目標 :

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共演習

の目標 : 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	共通テスト過去問の「公共」の分野別演習を通して、共通テスト 80 点以上の実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の 3 観点に対応した共通テストを中心に、「公共」の分野別の過去問演習を行い、解説を行う。  ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	共通テスト過去問の「政治・経済」の分野別演習を通して、共通テスト 80 点以上の実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の 3 観点に対応した共通テストを中心に、「政治・経済」の分野別の過去問演習を行い、解説を行う。  ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	共通テスト過去問の年度別演習を通して、共通テスト 80 点以上の実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の 3 観点に対応した共通テストを中心に、「公共、政治・経済」の年度別の過去問演習を行い、解説を行う。  ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	共通テスト過去問の年度別演習を通して、共通テスト 80 点以上の実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の 3 観点に対応した共通テストを中心に、「公共、政治・経済」の年度別の過去問演習を行い、解説を行う。  ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	生徒一人一人に添削指導を行い、共通テスト 80 点以上の実力を身につけさせる。	生徒一人一人に過去問添削指導を行う。	生徒一人一人への添削指導を通して、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	4
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

公民 科目 政治・経済

教科：公民

科目：政治・経済

単位数：2 単位 2

対象学年組：第3学年 A組～ H組

使用教科書：（詳述政治・経済）

教科 公民 の目標：

- 【知識及び技能】 社会的事象を多面的・多角的に考察し、グローバル化の進展に対応する力を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 政治など社会に関する諸課題を捉え、望ましい解決の在り方について主体的に考察する力を身につける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。

科目 政治・経済 の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
政治分野、経済分野に関する基本的な概念や理論を理解している。	現代社会の諸課題に対する解決について、多面的・多角的に考察し、資料などを基に根拠を明確にし、構想した上で、自分の考えを表現することができる。	現代社会の概念や課題について関心をもち、意欲的に学習活動に参加することができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当 時数
○民主政治の基本原則 【知識及び技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方や主権者としての政治参加の在り方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原則とその課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。	・教科書 ・ワークシート ・グループワーク ・発表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思考・判断・表現】 ・政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために、民主政治の基本原則とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。	○	○	○	5
○日本国憲法の成立 【知識及び技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本国憲法の基本的性格における学習上の課題を意欲的に解決しようとする力を身に付けさせる。	・教科書 ・ワークシート ・グループワーク ・発表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解している。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本国憲法の基本的性格における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
○日本の政治機構、現代日本の政治 【知識及び技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。	・教科書 ・ワークシート ・グループワーク ・発表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	8
○経済社会の変容 【知識及び技能】 ・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとする力を身に付けさせる。	・教科書 ・ワークシート ・グループワーク ・発表 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・経済活動について、現実社会の諸事象の関連させながら理解している。 【思考・判断・表現】 ・現実社会と関連させながら、経済活動について多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>○現代経済のしくみ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとする力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</li> </ul>				6	
	<p>○現代経済と福祉の向上</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働問題、社会保障など現実社会の諸事象を通して理解を深めること。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとする力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労働問題、社会保障など現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と福祉の向上との関連について、望ましい在り方について、多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</li> </ul>				6	
	定期考査				○	○		1
	<p>○現代の国際経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の現状、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際経済機関の役割などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際経済において、日本が果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における課題を意欲的に解決しようとする力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貿易の現状、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際経済機関の役割などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・国際経済において、日本が果たすべき役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における課題を意欲的に解決しようとしている。</li> </ul>				6	
<p>○国際社会の諸課題の探究</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の諸課題の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方について、自分の考えを論じることができている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する国際社会の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際社会の諸課題の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方について、自分の考えを論じることができている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化する国際社会の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>				6		
定期考査				○	○		1	
3 学 期	<p>○現代日本における諸課題の探究、グローバル化する国際社会の諸課題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得させる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における諸課題について、取り上げた課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述させる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする力を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書</li> <li>・ワークシート</li> <li>・グループワーク</li> <li>・発表</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</li> </ul>				14	
	合計						70	

高等学校 令和8年度（3学年用）教科 公民科 科目 政治・経済演習

教科：公民科 科目：政治・経済演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年組～組

使用教科書：（ ）

教科 公民科

の目標：

【知識及び技能】

選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【学びに向かう力、人間性等】

科目 政治・経済演習

の目標： 大学入学共通テストで平均点以上得点できる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関する現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関する情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身に付ける。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けるとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	共通テスト・私立大学（日東駒専～MARCHレベル）過去問の分野別演習を通して、共通テスト平均点以上の実力と私立大学（日東駒専～MARCH）合格レベルの実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の3観点に対応した共通テストを中心に、「政治・経済」の分野別の過去問演習を行い、解説を行う。 ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
	共通テスト・私立大学（日東駒専～MARCHレベル）過去問の分野別演習を通して、共通テスト平均点以上の実力と私立大学（日東駒専～MARCH）合格レベルの実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の3観点に対応した共通テストを中心に、「政治・経済」の分野別の過去問演習を行い、解説を行う。 ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	16
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	共通テスト・私立大学（日東駒専～MARCHレベル）過去問の年度別演習を通して、共通テスト平均点以上の実力と私立大学（日東駒専～MARCH）合格レベルの実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の3観点に対応した共通テストを中心に、「政治・経済」の年度別の過去問演習を行い、解説を行う。 ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	17
	定期考査			○	○	○	1
	共通テスト・私立大学（日東駒専～MARCHレベル）過去問の年度別演習を通して、共通テスト平均点以上の実力と私立大学（日東駒専～MARCH）合格レベルの実力を身につけさせる。	・新学習指導要領の3観点に対応した共通テストを中心に、「政治・経済」の年度別の過去問演習を行い、解説を行う。 ・随時個別添削指導を行う。	厳選した過去問から作成したテスト等を通じて、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学期	生徒一人一人に志望校の過去問添削指導を行い、共通テスト平均点以上の実力と私立大学（日東駒専～MARCH）合格レベルの実力を身につけさせる。	生徒一人一人に志望校の過去問添削指導を行う。	生徒一人一人への志望校過去問添削指導を通して、適切に実力を身につけているかを把握する。	○	○	○	4
							合計
							70

# 数 学

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （改訂版 高等学校 数学 I 数研出版）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係に着目し、考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学期	第1章 数と式 1節 式の計算 2節 実数 3節 1次不等式  【知識及び技能】 未知数や変数としての文字の見方や、一元一次方程式や連立二元一次方程式の学習を基に、類似点や相違点を明らかにしたり、新たな視点を加えたりすることで、その理解をより深めていくことができる。  【思考力、判断力、表現力等】 既習の数や文字式の計算の方法と関連付けて、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりできるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などと関連付けて不等式を活用することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式</li> <li>・整式の加法・減法・乗法</li> <li>・因数分解</li> <li>・実数</li> <li>・根号を含む式の計算</li> <li>・不等式とその性質</li> <li>・一次不等式の解法</li> <li>・連立1次不等式</li> <li>・絶対値記号を含む不等式</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができる。 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。  【思考・判断・表現】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ・不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証  第3章 二次関数 1節 関数とグラフ  【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。また集合及び命題について学習することにより、数学的な表現の基礎を身に付け、数学の内容をより深く厳密に扱うことができるようになる。  【思考力、判断力、表現力等】 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどを用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。  【学びに向かう力、人間性等】 中学校で既に学習した数の性質や図形の性質を取り上げ、命題として表現させ、証明などを考えたりする活動ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合</li> <li>・補集合とド・モルガンの法則</li> <li>・命題と条件</li> <li>・論証</li> <li>・関数</li> <li>・二次関数とそのグラフ</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 ・二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。  【思考・判断・表現】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解するとともに、それらを用いて論理的に考察し表現することができる。 ・関数のグラフの平行移動を取り扱った後で、式を変形し、グラフの対称軸や頂点に着目して、関数のグラフとの位置関係を調べたり、コンピュータなどを活用して様々なグラフをかき、その特徴を帰納的に見いだしたりする活動ができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・対偶を利用した証明や背理法による証明などの考え方が理解できる。また、生活の中で取り上げられる例を考えることができる。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第3章 二次関数 1節 関数とグラフ 2節 二次方程式・二次不等式</p> <p>【知識及び技能】 二次関数のグラフを通して、関数の値の変化を考察し、二次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。また、具体的な事象について、二次関数の最大・最小の考えを用いて問題を解決できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関数</li> <li>二次関数とそのグラフ</li> <li>二次関数の最大・最小</li> <li>二次関数の決定</li> <li>二次方程式の解法</li> <li>二次方程式の実数解の個数</li> <li>二次関数のグラフとx軸の共有点</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次関数の最大値や最小値を求めること。</li> <li>二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。</li> <li>二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて実数解、共有点を求めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次関数のグラフを通して、関数の値の変化を考察し、二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</li> <li>具体的な事象について、二次関数の最大・最小の考えを用いて問題を解決できるようにする。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>何を明らかにしようとするかという目的を明確にした上で、二つの数量の関係に着目し、二次関数として捉え、関数の値の変化等を考察したり、関数の最大値や最小値を求めたりすることができるようにする。</li> </ul>	○	○	○	20
	定期考査						1
	<p>第3章 二次関数 2節 二次方程式・二次不等式</p> <p>第4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の拡張</p> <p>【知識及び技能】 二次不等式の解の意味を理解し、二次関数のグラフとx軸との位置関係から二次不等式の解を求める。また、グラフを活用することのよさを認識できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 鋭角で定義した三角比のどのような性質に着目し、どのような意味のものとしてこれらの角の三角比を定めるのかを理解できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などとの関連を図り、三角比を新たに導入することの必要性と有用性を認識できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次不等式</li> <li>二次不等式の応用</li> <li>直角三角形と三角比</li> <li>正弦、余弦、正接</li> <li>三角比の相互関係</li> <li>三角比と座標</li> <li>三角比の性質</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。</li> <li>鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。</li> <li>三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解すること。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</li> <li>具体例を基に一般的に成り立つ数学的な関係や性質を推測させるなどして、それらの関係や性質が成り立つことをどのように証明するかを考えさせる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角比や正弦定理、余弦定理などの活用場面として、平面図形や簡単な空間図形の計量を取り扱う。</li> </ul>	○	○	○	20
定期考査				○	○		1
3 学 期	<p>第3章 図形と計量 3節 三角形への応用</p> <p>第4章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関</p> <p>【知識及び技能】 導いた正弦定理や余弦定理を用いて具体的な三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くこと。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象から数学的な考察を通して得られた結果をもとの事象に基づいて解釈したりすることにより、正弦定理、余弦定理などを日常の事象や社会の事象などの問題の解決に活用する力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正弦定理</li> <li>余弦定理</li> <li>三角形の面積</li> <li>空間図形の計量</li> <li>データの整理</li> <li>四分位数</li> <li>分散と標準偏差</li> <li>相関関係</li> <li>相関係数</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めること。</li> <li>分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解すること。</li> <li>コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすること。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現し、正弦定理、余弦定理を導くこと。</li> <li>データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決すること。</li> <li>解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</li> </ul>	○	○	○	20
	定期考査				○	○	
							合計
							105

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （改訂版 高等学校 数学A 数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間などの関係などに着目し、図形の性質を見いだし、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	第1章 場合の数と確率 0節 集合 1節 場合の数  【知識及び技能】 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解するとともに、具体的な事象を基に順列の意味を理解し、事象の構造などに着目して場合の数を求める方法を多面的に考察し、順列の総数を求める。  【思考力、判断力、表現力等】 具体的な事象に関する場合の数を樹形図や表に整理して調べる方法を考察することを通して、順列の総数の求め方の公式を導く。  【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などに対して、数学的な考えを適用し判断や意思決定をする場面を設定することができる。	・集合とその表し方 ・集合の要素の個数 ・共通部分と和集合 ・補集合 ・ド・モルガンの法則 ・樹形図と場合の数 ・和の法則、積の法則 ・自然数の正の約数の個数 ・順列の計算 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解している。 ・共通部分、和集合、空集合、補集合について理解している。 ・ド・モルガンの法則を利用できる。 ・和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ・具体的な事象を基に順列の意味を理解し、順列の総数を求めること。  【思考・判断・表現】 ・条件を満たすものを集合の要素としてとらえることができる。 ・集合の特徴によって、要素を列挙する方法と要素の満たす条件を示す方法を使い分けて、集合を表すことができる。 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・2つの集合の関係を考え、2つの集合から新たな集合を求めることができる。 ・具体的な場合の数を求める過程などでそれらの性質を見いだし、それを一般化させる。	○	○	○	13	
	定期考査				○	○		1
	第1章 場合の数と確率 1節 場合の数 2節 確率  【知識及び技能】 具体的な事象を基に組合せの意味を理解し、組合せの総数を求めること。また、確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率を求めること。  【思考力、判断力、表現力等】 事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察すること。また、確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。  【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めること。	・重複順列 ・円順列 ・組合せの計算 ・重複組合せ ・組分け ・同じものを含む順列 ・道順の問題 ・隣り合わない並び方 ・重複を許して取る組合せ ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・順列の用語、記号、公式を理解し、利用できる。 ・順列の総数や階乗を記号で表し、それを活用できる。 ・順列の条件がつく場合に、条件の処理の仕方を理解している。 ・試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結びつけて考えることができる。  【思考・判断・表現】 ・特殊な条件がつく順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ・順列の問題で、重複して数えないための処理ができる。 ・特殊な条件がつく組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な問題に対して、どのような場合に、円順列、重複順列の考え方が適用できるかを見極めて、それらの公式を使うことができる。 ・具体的な問題に対して、組合せの考えを利用して式に表すことができる。 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められる。	○	○	○	13	
定期考査				○	○		1	

2 学 期	<p>第1章 場合の数と確率 2節 確率</p> <p>第2章 図形の性質 1節 平面図形</p> <p>【知識及び技能】 独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めること。また、条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察すること。また、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 具体的な事象を基に確率の意味を理解し、様々な条件の確率を求めること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積事象と和事象</li> <li>・排反事象</li> <li>・独立な試行の確率</li> <li>・反復試行の確率</li> <li>・条件付き確率</li> <li>・線分の内分・外分</li> <li>・三角形の辺の比</li> <li>・三角形の外心、内心、重心</li> <li>・三角形の辺と角</li> <li>・三角形の存在条件</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独立な試行の定義や反復試行の意味を理解し、その確率の求め方がわかる。</li> <li>・線分の内分・外分、平行線と比などの基本事項を理解している。</li> <li>・三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。</li> <li>・三角形と辺と角に関する性質の証明方法を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試行が独立か、独立でないかを判断できる。</li> <li>・複雑な独立試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。</li> <li>・三角形の辺と角の大小関係に関する定理を理解し、それを用いて図形の性質を証明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考えることができる。</li> <li>・具体的な事象について、反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。</li> <li>・自明にみえる事実でも、既習事項に基づき、補助線などを有効に活用しながら考察しようとする。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査						1
	<p>第2章 図形の性質 1節 平面図形 2節 空間図形</p> <p>【知識及び技能】 三角形に関する基本的な性質について理解すること。また、円に関する基本的な性質について理解すること。空間図形に関する基本的な性質について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統一的・発展的に考察すること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・円周角の定理</li> <li>・円周角の定理の逆</li> <li>・円に内接する四角形の性質</li> <li>・四角形が円に内接するための条件</li> <li>・円と直線の位置関係</li> <li>・円の接線</li> <li>・接線の長さ</li> <li>・接線と弦のつくる角</li> <li>・方べきの定理</li> <li>・方べきの定理の逆</li> <li>・2つの円の位置関係</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円についての基本的な性質を理解している。</li> <li>・円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めたり、円と四角形の様々な性質を証明できる。</li> <li>・円の接線の性質を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明できる。</li> <li>・方べきの定理を利用して、線分の長さを求めたり、図形の性質を証明することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定理を利用して、円に関する様々な性質を証明することができる。</li> <li>・円周角の定理の逆、方べきの定理の逆が成り立つかどうかを適切な方法で調べることができる。</li> <li>・2つの円が内接しているとき成り立つ性質を利用して角度を求めることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・円に内接する四角形の1つの辺を動的に変化させて接線に近づけることにより、極限としての接線と弦の作る角について考察することができる。</li> <li>・2つの円の位置関係の判定条件として、中心間の距離と半径の関係について、積極的に考察しようとする。</li> </ul>	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
3 学 期	<p>第3章 数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】 数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解すること。数学史的話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察すること。パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象から数学的な考察を通して得られた結果をもとに、事象に基づいて解釈したりすることにより、日常の事象や社会の事象などの問題の解決に活用する力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約数と倍数</li> <li>・倍数の判定</li> <li>・素数と素因数分解</li> <li>・最大公約数と最小公倍数</li> <li>・除法の性質と整数の分類</li> <li>・ユークリッドの互除法</li> <li>・1次不定方程式</li> <li>・記数法</li> <li>・ゲーム・パズルの中の数学</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約数や倍数及びそれらの性質について理解している。また、いろいろな数の倍数の判定法について理解している。</li> <li>・素数の判定法や素因数分解について理解している。</li> <li>・ユークリッドの互除法を理解し、活用することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最大公約数と最小公倍数の関係を理解し、整数に関する問題解決に利用することができる。</li> <li>・整数を割り算の余りで分類することを理解し、整数に関する問題解決に利用することができる。</li> <li>・割り算の余りによる整数の分類を利用し、整数の性質を考察する。</li> <li>・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、2つの整数の最大公約数を求めることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学史的話題、数理的なゲームやパズルを取り上げ、数学と文化の人間との関わりについての認識を深めるとともに、パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察できるようにする。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査				○	○	
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： 「高等学校 数学Ⅱ」（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式について論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、その特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 式と証明</p> <p>第1節 式と計算</p> <p>第2節 等式・不等式の証明</p> <p>【知識及び技能】 多項式の除法や分数式の計算、式の証明などの基本的な概念、原理を理解し、基礎的な知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 多項式の除法や式の証明を通して式の見方を豊かにし、数学的に考察することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 整式の除法や分数式、式の証明に関心をもち、それらを問題の解決に活用しようとする姿勢を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3次式の展開と因数分解</li> <li>二項定理</li> <li>多項式の割り算</li> <li>分数式とその計算</li> <li>恒等式</li> <li>等式の証明</li> <li>不等式の証明</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二項定理が導き出される過程を理解している。</li> <li>論証の方法について、それぞれの方法に適用する問題を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>二項定理を用いて展開式や、展開式における係数を求めることができる。</li> <li>等式、不等式の証明を通して、式を論理的にみるることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>等式や不等式の証明を通して、式の性質に関心をもち、</li> </ul>	○	○	○	16
<p>第2章 複素数と方程式</p> <p>第1節 複素数と2次方程式の解</p> <p>第2節 高次方程式</p> <p>【知識及び技能】 数の複素数までの拡張、2次方程式、高次方程式などの概念、原理を順序立てて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲を拡張することにより2次方程式や高次方程式を解くことを考察できるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 複素数解まで発展させた2次方程式及び高次方程式を解くことに関心をもち、活用しようとする姿勢を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複素数とその計算</li> <li>2次方程式の解</li> <li>解と係数の関係</li> <li>剰余の定理と因数定理</li> <li>高次方程式</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複素数の四則演算の仕方を身に付けている。</li> <li>2次方程式の解の種類を判別および解と係数の関係についての基礎的な知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解の公式を利用して、2次方程式を虚数解も含めて解くことができる。</li> <li>因数定理を用いて高次方程式を解くことを考察できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2次方程式がつねに解をもつように、数を複素数まで拡張することに興味・関心をもち、</li> <li>高次方程式の解法に関心をもち、活用しようとする。</li> </ul>	○	○	○	11
定期考査			○	○		1
<p>第3章 図形と方程式</p> <p>第1節 点と直線</p> <p>第2節 円</p> <p>第3節 軌跡と領域</p> <p>【知識及び技能】 座標や式を利用して、平面図形の性質や関係を調べる方法を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 平面図形を座標や式を利用して表現することができるようになる。また、点や直線、円に関する公式を用いて問題を解決することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 基本的な平面図形の性質や関係、点や直線、円の位置関係を調べる際に座標を用いることの有用性を認識する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直線上の点</li> <li>平面上の点</li> <li>直線の方程式</li> <li>2直線の関係</li> <li>円の方程式</li> <li>円と直線</li> <li>2つの円</li> <li>軌跡と方程式</li> <li>不等式の表す領域</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形や四角形などの図形の性質や関係を調べる方法を理解している。</li> <li>円の方程式を求める方法を理解している。</li> <li>方程式を満たす点の集合が座標平面上の軌跡を表していることを理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形や四角形の性質や関係を、座標を用いて考察することができる。</li> <li>2次方程式の判別式や円の中心と直線との距離を用いて、円と直線の位置関係を考察することができる。</li> <li>与えられた条件を満たす方程式を求め、それが表す図形を考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円の方程式、円と直線の関係について関心をもち、</li> <li>与えられた条件を満たす点全体の集合が作る図形に関心をもち、調べようとする。</li> </ul>	○	○	○	27

	定期考査			○	○		1
2 学 期	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理  【知識及び技能】 三角関数の加法定理が導かれる過程を理解し、この定理から様々な公式が導かれることを理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 三角関数を関数としてとらえ、方程式や不等式を考察することができるようになる。  【学びに向かう力、人間性等】 角を一般角に拡張して、数学Ⅰで学習した三角比を発展させて考えようとする姿勢を身に付ける。	・角の拡張 ・三角関数 ・三角関数のグラフ ・三角関数の性質 ・三角関数の応用 ・加法定理 ・加法定理の応用 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・一般角における三角関数についての基礎的な知識を身に付けている。 ・加法定理を理解し、その利用となる2倍角の公式、半角の公式、合成についても理解している。  【思考・判断・表現】 ・角度の拡張に伴う三角比から三角関数への発展について考察することができる。 ・加法定理を導く過程を考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・180°以上の角や負の角、さらに弧度法に関心を示し、活用しようとする。 ・加法定理から導き出される2倍角・半角の公式などに関心をもち、	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数  【知識及び技能】 指数関数・対数関数の性質やグラフの特徴、それらが活用される場面を理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数のグラフや性質を利用して、複雑な問題を処理することができるようになる。  【学びに向かう力、人間性等】 指数関数と対数関数の関係に関心をもち、活用しようとする姿勢を身に付ける。	・指数の拡張 ・指数関数 ・対数とその性質 ・対数関数 ・常用対数 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数(実数)まで拡張する意義を理解している。 ・底の大きさに注意して、対数関数を含む方程式や不等式の解法を理解している。  【思考・判断・表現】 ・指数関数のグラフや性質を用いて、基本的な方程式や不等式を考察することができる。 ・指数法則から対数の性質を考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・指数の拡張について関心を示し、指数関数のグラフや性質について調べようとする。 ・対数の性質について関心を示し、具体的な事象に活用しようとする。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
3 学 期	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法  【知識及び技能】 定積分と面積の関係を理解し、面積の求め方の知識を身に付ける。  【思考力、判断力、表現力等】 微分や積分を記号を用いて表すことができ、公式を利用して処理することができるようになる。  【学びに向かう力、人間性等】 微分係数や導関数および、微分の逆演算としての不定積分に関心を示し、面積を求める際に定積分を活用しようとする姿勢を身に付ける。	・微分係数 ・導関数とその計算 ・接線の方程式 ・関数の増減と極大、極小 ・関数の増減、グラフの応用 ・不定積分 ・定積分 ・定積分と面積 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・定義に基づいた導関数の求め方を理解している。 ・極値の意味とその求め方を理解している。 ・面積と定積分の関係について理解し、簡単な図形の面積の求め方の知識を身に付けている。  【思考・判断・表現】 ・導関数の意味をグラフと関連づけて、数学的に考察することができる。 ・導関数の符号から関数の値の増減を考察することができる。 ・定積分を含む等式について、定積分の性質などを用いて考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・平均変化率、微分係数、導関数の考え方に関心をもち、調べようとする。 ・面積と定積分の関係に関心を示し、積極的にいろいろな面積を求めようとする。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
						合計	140

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学 科目： 数学B 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： 「高等学校 数学B」（数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数列 第1節 数列とその和 【知識及び技能】 数列の基本的な知識を身に付け、数列の一般項や和を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数列や、その数列の規則性から考察することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 数列とその和に関心をもち、活用しようとする姿勢を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>数列</li> <li>等差数列</li> <li>等差数列の和</li> <li>等比数列</li> <li>等比数列の和</li> <li>和の記号<math>\Sigma</math></li> <li>自然数の2乗の和</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・数列の一般項の意味を理解している。 ・簡単な数列や等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができる。 ・記号 $\Sigma$ の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな条件から等差数列・等比数列の一般項や和を求める方法を考察することができる。 ・数列の和を記号 $\Sigma$ を利用して表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・等差数列・等比数列の仕組みに関心をもち、それらを一般項や和の考察に活用しようとする。 ・数列の和において、記号 $\Sigma$ を利用しようとする。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
1 学期 第1章 数列 第1節 数列とその和 第2節 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 漸化式や数学的帰納法の基本的な概念を理解し、それらを利用して、数列の一般項を求めたり、式を証明することができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数列や数学的帰納法を利用して考察し、その規則性を見つけたりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 漸化式と数学的帰納法の有用性を認識し、事象の考察に活用しようとする姿勢を身に付ける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな数列の和</li> <li>階差数列</li> <li>漸化式と一般項</li> <li>数学的帰納法</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・いろいろな数列について、その規則性を見つけ、具体的な問題に活用する方法を理解している。 ・漸化式から一般項を求める方法を理解している。 ・数学的帰納法を用いた証明を利用して、等式・不等式を証明できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな数列の規則を見つけ、一般項やその和を考えることができる。 ・様々な漸化式を適切に変形することで、その数列の一般項を求める方法を考えることができる。 ・数列の一般項を推定し、それを数学的帰納法を用いて証明することを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・いろいろな数列の規則性に関心をもち、それを一般項や和を求める考察に活用しようとする。 ・漸化式から一般項を導くことや、数学的帰納法を用いた証明に関心をもち、	○	○	○	13
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>第1節 確率分布</p> <p>【知識及び技能】 確率分布の基本的な概念、性質などを体系的に理解し、知識を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 事象の考察において、確率分布や統計的な推測を通じた見方を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象の考察に確率分布が有効であることに関心をもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率変数と確率分布</li> <li>・確率変数の期待値</li> <li>・分散と標準偏差</li> <li>・二項分布</li> <li>・二項分布と期待値、分散標準偏差</li> <li>・連続型確率変数</li> <li>・正規分布</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布や二項分布における、その平均、分散、標準偏差などの意味を理解している。</li> <li>・連続的な確率分布や確率密度関数の意味を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布や二項分布について、その傾向を平均、分散、標準偏差などを用いて適切に表現することができる。</li> <li>・連続的な確率分布や確率密度関数について、その表されたグラフと確率を関連づけてみることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布や二項分布について、平均、分散、標準偏差などを用いて分布の傾向を把握しようとする。</li> <li>・連続的な確率分布や、それを表す確率密度関数を事象の考察に活用しようとする。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>第2章 統計的な推測</p> <p>第1節 確率分布</p> <p>第2節 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】 事象の考察において、確率分布や統計的な推測を適切に用いて処理する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 確率分布や統計的な推測を用いて、事象の考察をすることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象の考察に確率分布や統計的な推測を活用しようとする姿勢を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二項分布の正規分布による近似</li> <li>・母集団と標本</li> <li>・標本平均の分布</li> <li>・母平均の推定</li> <li>・母比率の推定</li> <li>・仮説検定</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全数調査と標本調査の意味を理解している。</li> <li>・標本平均の平均や標準偏差を求めたり、母平均や母比率の推定をしたりすることができる。</li> <li>・仮説検定の考え方や手順を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本平均の平均や標準偏差を考察したり、母平均や母比率の推定を考えたりすることができる。</li> <li>・標本調査を利用して、統計的な事象を考察することができる。</li> <li>・仮説検定を利用して、実験や調査の結果を批判的に考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査から推定できる事柄について関心をもつ。</li> <li>・標本調査や仮説検定を統計的な事象の考察に活用しようとする。</li> </ul>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>第3章 数学と社会生活</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学を用いた考察</li> <li>・社会で用いられる数値や指標</li> <li>・変化をとらえる</li> </ul> <p>【知識及び技能】 社会生活などにおける問題を、数学を活用して解決する意義について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象において、数・量・形やそれらの関係に着目することによって、問題を数学的に表現することができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などにおける問題を、数学を活用して解決しようとする姿勢を身に付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの量の推定</li> <li>・シェアサイクル</li> <li>・偏差値</li> <li>・選挙における議席配分</li> <li>・移動平均</li> <li>・回帰直線</li> <li>・回帰曲線</li> <li>・尺度を変える</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時系列データの特徴や、そこから傾向を読み取る方法を理解する。</li> <li>・身のまわりの問題を数学を活用してモデル化することができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられたデータについて、特徴や傾向を読み取る方法について考察することができる。</li> <li>・身のまわりのものに活用されている数学について考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりの問題についてデータを収集し、その特徴や傾向を読み取ることで問題を解決しようとする。</li> <li>・身のまわりのものに隠れている数学的特徴について関心をもつ。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
合計							
70							

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅠAⅡB演習

教科： 数学 科目： 数学ⅠAⅡB演習 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 A～F 組

使用副教材： （ キートレーニング数学演習 Ⅰ・Ⅱ・A・B・C [ベクトル] 受験編 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅠAⅡB演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBで学んだ様々な単元における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学ⅠAⅡBで学んだ様々な単元における問題演習を通して、与えられた数式の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数学的な視点に立って、論理的に解法を判断する力、方程式を用いて的確に表現したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数と式 第2章 2次関数 第3章 図形と計量 第4章 データの分析 第5章 場合の数と確率  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、Get Readyレベルの問題を素早く解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・Trainingレベルの問題に対し、規則性に着目して考察することで、適切な解法を判断することができるようになる。 ・Trainingレベルの問題の解答に至る過程を的確に表現し、記述することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・各単元におけるGet Readyレベルの問題の確認 ・各単元におけるTrainingレベルの問題の演習および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、適切な解法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現し、記述することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1
1学期 第6章 図形の性質 第7章 整数の性質 第8章 式と証明 第9章 複素数と方程式 第10章 図形と方程式 第11章 三角関数  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、Get Readyレベルの問題を素早く解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・Trainingレベルの問題に対し、規則性に着目して考察することで、適切な解法を判断することができるようになる。 ・Trainingレベルの問題の解答に至る過程を的確に表現し、記述することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・各単元におけるGet Readyレベルの問題の確認 ・各単元におけるTrainingレベルの問題の演習および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、適切な解法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現し、記述することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科: 数学 科目: 数学Ⅲ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 A組 C組 D組

使用教科書: (高等学校 数学Ⅲ 数研出版)

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係に着目し、考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	第1章 関数 1節 分数関数 2節 無理関数 3節 逆関数・合成関数  【知識及び技能】 分数関数や無理関数の基本的な性質について理解し、学習を基に、類似点や相違点を明らかにしたり、新たな視点を加えたりすることで、その理解をより深めていくことができる。  【思考力、判断力、表現力等】 既習の数や文字式の計算の方法と関連付けて、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりできるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などと関連付けて極限の考え方を活用することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分数関数</li> <li>・直角双曲線</li> <li>・無理式、無理関数</li> <li>・逆関数</li> <li>・合成関数</li> <li>・分数不等式とその性質</li> <li>・無理不等式とその性質</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・分数関数、無理関数に関心をもち、その性質を調べグラフをかこうとする。 ・分数関数や無理関数を通して、定義域や値域の関係や漸近線を理解できる。  【思考・判断・表現】 ・分数関数や無理関数のグラフを利用して、分数不等式や無理不等式などが解けることを理解できる。 ・合成関数についての知識を身につけ、複雑な関数を基本的な関数の合成関数として考察できる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することできる。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	第2章 極限 1節 数列の極限 2節 関数の極限  【知識及び技能】 極限の概念を理解し、数列の極限の考えを活用できるようにする。また公比の値によって収束、発散などの変化を調べることができるようになる。  【思考力、判断力、表現力等】 極限の概念を用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。また、循環小数や図形への応用問題などを取り上げ、解くことができるようになる。グラフとの関係について、コンピュータなどを用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。  【学びに向かう力、人間性等】 今までに学習した数列や図形の性質を取り上げ、命題として表現させ、証明などを考えたりする活動ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の極限</li> <li>・無限等比数列</li> <li>・無限等比級数</li> <li>・関数の極限值</li> <li>・関数のいろいろな極限</li> <li>・関数の連続性</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・数列の極限、無限等比数列、無限等比級数に興味を示し、その特徴を理解しようとする。 ・数列の極限が公比の値によって異なることを理解できる。 ・いろいろな関数について、さまざまな極限を理解できる。  【思考・判断・表現】 ・等比数列と無限等比級数の収束、発散の関係を理解できる。 ・等比数列の公比を調べ、さまざまな数列の収束と発散を考察することができる。 ・極限の概念を活用して、関数のいろいろな極限を求める考え方を身につけている。 ・関数の連続性や中間値の定理を理解し、身につけている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・対偶を利用した証明や背理法による証明などの考え方が理解できる。また、生活の中で取り上げられる例を考えることができる。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1	



定期考査			○	○		
						合計
						140

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書： （ 高等学校 数学C 数研出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面上の曲線がいろいろな式で表されること及び複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるように基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学的に解釈し、数学的に表現する技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を式、グラフを相互に関連付けて考察する力、日常的な事象などから設定した問題について、変量間の関係に着目し、考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	第1章 平面上のベクトル 1節 ベクトルとその演算 2節 ベクトルと平面図形  【知識及び技能】 平面上のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な性質について理解し、学習を基に、類似点や相違点を明らかにしたり、新たな視点を加えたりすることで、その理解をより深めていくことができる。また、ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し、それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを理解できる。  【思考力、判断力、表現力等】 幾何的に定義したベクトルが、成分で表すことにより代数的な取り扱いができることを理解できる。ベクトルの内積について知り、その基本性質を理解する。さらに、内積をいろいろな図形の問題に活用できるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などと関連付けてベクトルの考え方を活用することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベクトルの演算</li> <li>ベクトルの成分</li> <li>ベクトルの内積</li> <li>位置ベクトル</li> <li>ベクトルの図形への応用</li> <li>図形のベクトルによる表示</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号に習熟することができる。 ・ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し、それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを理解できる。  【思考・判断・表現】 ・1次独立である2つのベクトルの1次結合として、平面上の任意のベクトルが表現できることを理解できる。また、幾何的に定義したベクトルが、成分で表すことにより代数的な取り扱いができることを理解できる。 ・ベクトルの内積について知り、その基本性質を理解する。さらに、内積をいろいろな図形の問題に活用できるようにする。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・平面上の直線や円などの図形が、ベクトルを用いて表すことができることを理解し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用することができる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第2章 空間のベクトル  【知識及び技能】 空間のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な性質について理解し、学習を基に、類似点や相違点を明らかにしたり、新たな視点を加えたりすることで、その理解をより深めていくことができる。また、ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し、それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを理解できる。  【思考力、判断力、表現力等】 空間のベクトルを、平面のベクトルの自然な拡張として定義し、空間ベクトルについても平面と同様の性質が成り立つこと、および空間のいろいろな図形の問題に利用できることを理解する。また、ベクトルの内積について知り、その基本性質を理解する。さらに、内積をいろいろな図形の問題に活用できるようにする。  【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などと関連付けて空間ベクトルの考え方を活用することができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>空間の点</li> <li>空間ベクトル</li> <li>ベクトルの成分</li> <li>ベクトルの内積</li> <li>ベクトルの図形への応用</li> <li>座標空間における図形</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 ・空間のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号に習熟することができる。 ・ベクトルの加法・減法および実数倍について理解し、それらの演算について数の演算と同様の法則が成り立つことを理解できる。  【思考・判断・表現】 ・幾何的に定義したベクトルが、成分で表すことにより代数的な取り扱いができることを理解できる。 ・ベクトルの内積について知り、その基本性質を理解する。さらに、内積をいろいろな図形の問題に活用できるようにする。 ・位置ベクトルについて知り、いろいろな図形の問題を位置ベクトルを利用して解くことができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間の直線や球などの図形が、ベクトルを用いて表すことができることを理解し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題解決に活用することができる。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

	<p>第3章 式と曲線 1節 2次曲線</p> <p>【知識及び技能】 既習事項の軌跡の考えを利用して、放物線・楕円・双曲線の方程式を導くことができる。また、1年で学習した2次関数のグラフとしての放物線と2次曲線としての放物線を関連づけてとらえられる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放物線</li> <li>・楕円</li> <li>・双曲線</li> <li>・2次曲線の平行移動</li> <li>・2次曲線と曲線</li> <li>・2次曲線の性質</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学Ⅱで学んだ軌跡の考えを利用して、放物線・楕円・双曲線の方程式を導くことができる。</li> <li>・1年で学習した2次関数のグラフとしての放物線と2次曲線としての放物線を関連づけてとらえられる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な2次曲線の方程式から焦点、準線などを導くことができる。</li> <li>・複雑な方程式で表される2次曲線を、平行移動の考えを利用して調べようとする。</li> <li>・2次曲線と直線の交点や接線、弦の中点を2次方程式の実数解を利用して求めることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的活動を通して、式と曲線における数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考える。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査						1
2 学 期	<p>第3章 式と曲線 2節 媒介変数表示と極座標</p> <p>【知識及び技能】 式と曲線・曲線の媒介変数表示・極座標における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな曲線を媒介変数表示で表し、数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身につけ、的確に問題を解決する力をつける。また、思考の過程を振り返り多面的・発展的にかんがえる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などとの関連を図り、いろいろな関数を新たに導入することの必要性和有用性を認識できるようにする。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲線の媒介変数表示</li> <li>・極座標と極方程式</li> <li>・いろいろな曲線</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・媒介変数表示の曲線を、媒介変数を消去した式で表すことができる。</li> <li>・いろいろな関数について、媒介変数を用いて表すことができる。また、平行移動して得られる曲線の方程式を求めることができる。</li> <li>・曲線を極座標を用いて表すと簡潔に表せ、その性質の考察を容易になることがあることに気づくことができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクロイドなど媒介変数表示でないと表しにくい曲線を進んで考察しようとする。</li> <li>・極座標で表された点の直交座標が求められる。また、直交座標で表された点の極座標が求められることができる。</li> <li>・2次曲線を極方程式で表すと、離心率を用いて簡潔に表されること理解し、統一的に考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・媒介変数表示や極方程式で表された曲線をコンピュータで描き、それらを考察することができる。適切に描画機能をもつ数式処理ソフトを用いて処理できる知識を身につけ、日常の事象などの活用場面として、平面図形や簡単な空間図形の計量を取り扱う。</li> </ul>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第4章 複素数平面 1節 複素数平面 2節 図形への応用</p> <p>【知識及び技能】 複素数平面上の点と複素数を1対1に対応させることや複素数を加えることの意味を、複素数平面では平行移動なることを理解できる。複素数を極形式で表し、その理解を深めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 複素数の積や商の意味を図表示を通して理解を深め、絶対値が1の複素数をかけることは、図形的には回転移動なることを理解できる。また、ド・モアブルの定理を導き、簡単な二項方程式を解くことができる。</p> <p>複素数平面上の線分の内分点や外分点を表す複素数を求めることができ、垂直二等分線や円の方程式を求められるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象から数学的な考察を通して得られた結果をもとの事象に基づいて解釈したりすることにより、複素数平面を日常の事象や社会の事象などの問題の解決に活用する力を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数平面</li> <li>・複素数の極形式</li> <li>・ド・モアブルの定理</li> <li>・円と分点</li> <li>・複素数と三角形</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数平面上の点と複素数を1対1に対応させることができる。また、複素数を加えることは、複素数平面では平行移動なることを理解している。</li> <li>・複素数を極形式で表し、その理解を深めることができる。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複素数の積や商の意味を図表示を通して理解を深め、また、絶対値が1の複素数をかけることは、図形的には回転移動なることを理解している。</li> <li>・ド・モアブルの定理を導き、簡単な二項方程式を解くことができる。</li> <li>・複素数平面上の線分の内分点や外分点を表す複素数を求めることができ、垂直二等分線や円の方程式を求められるようにする。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決すること。</li> <li>・解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</li> </ul>	○	○	○	14	
	定期考査				○	○		
							合計	
								70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 理系数学演習

教科 数学 科目 理系数学演習 単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 A組、C組、D組

使用教科書：（ベーシックスタイル 数学演習Ⅲ・C〔複素数平面・式と曲線〕）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 理系数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAⅡBⅢCで学んだ様々な単元においての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学ⅠAⅡBⅢCで学んだ様々な単元における問題演習を通して、与えられた数式の規則性に着目し、数学的な視点に立って、論理的に解法を判断する力、方程式を用いて的確に表現したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第3章 関数 入試問題  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・分数関数の応用問題 ・逆関数の応用問題 ・合成関数の応用問題 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第4章 極限 入試問題  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・数列の極限の応用問題 ・無限等比級数の応用問題 ・関数の極限の応用問題 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第5章 微分法 入試問題</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな関数の微分法</li> <li>・関数の最大・最小の応用問題</li> <li>・方程式・不等式の応用問題</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査						1
	<p>第6章 積分法 入試問題</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな関数の積分法</li> <li>・部分積分と置換積分の応用問題</li> <li>・面積や体積の応用問題</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

3 学 期	第1章 複素数平面 入試問題 第2章 式と曲線 入試問題 共通テスト対策演習  <b>【知識・技能】</b> ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・複素数の極形式 ・複素数平面上の回転 ・複素数と図形の実用問題 ・放物線、楕円、双曲線 ・一人1台端末の活用	<b>【知識・技能】</b> ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  <b>【思考・判断・表現】</b> ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
<b>合計</b>							70

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 数学 科目 文系数学ⅠA演習

教科: 数学 科目: 文系数学ⅠA演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 B組、E組、F組、G組、H組

使用教科書: ( ニューステージ 数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 受験編 )

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文系数学ⅠA演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅠAで学んだ様々な単元についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学ⅠAで学んだ様々な単元における問題演習を通して、与えられた数式の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数学的な視点に立って、論理的に解法を判断する力、方程式を用いて的確に表現したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	数学Ⅰ 数と式 二次関数  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・因数分解 ・根号を含む式の計算 ・一次不等式の解法 ・連立1次不等式 ・絶対値記号を含む不等式 ・二次関数の最大・最小 ・二次関数の決定 ・二次方程式の解法 ・二次方程式の実数解の個数 ・二次関数のグラフとx軸の共有点 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	数学Ⅰ 二次関数 図形と計量 データの分析  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・二次方程式の解法 ・二次方程式の実数解の個数 ・二次関数のグラフとx軸の共有点 ・二次不等式の応用 ・三角比の相互関係 ・正弦定理 ・余弦定理 ・三角形の面積 ・空間図形の計量 ・分散と標準偏差 ・相関関係 ・相関係数 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>数学A 場合の数・確率 図形の性質</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合せの計算</li> <li>・重複組合せ</li> <li>・組分け</li> <li>・同じものを含む順列</li> <li>・道順の問題</li> <li>・隣り合わない並び方</li> <li>・重複を許して取る組合せ</li> <li>・反復試行の確率</li> <li>・条件つき確率</li> <li>・三角形の外心、内心、重心</li> <li>・三角形の存在条件</li> <li>・円周角の定理</li> <li>・四角形が円に内接するための条件</li> <li>・円の接線</li> <li>・方べきの定理</li> <li>・2つの円の位置関係</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査						1
	<p>数学I A 大学入試問題 共通テスト対策演習</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試問題の演習</li> <li>・共通テスト対策演習</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
3 学 期	<p>数学I A 大学入試問題 共通テスト対策演習</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試問題の演習</li> <li>・共通テスト対策演習</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		
							合計
							70

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 文系数学ⅡBC演習

教科： 数学 科目： 文系数学ⅡBC演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 B、E、F、G、H 組

使用副教材： （ ニューステージ 数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C 受験編 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や法則を体系的に理解する。数学的に表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文系数学ⅡBC演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学ⅡBCで学んだ様々な単元における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数学ⅡBCで学んだ様々な単元における問題演習を通して、与えられた数式の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、数学的な視点に立って、論理的に解法を判断する力、方程式を用いて的確に表現したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第8章 式と証明 複素数と方程式 第9章 図形と方程式 第10章 三角関数  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・各単元における基本事項の確認 ・各単元における練習問題、演習問題および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	第11章 指数関数・対数関数 第12章 微分法・積分法 第13章 数列  【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。  【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。	・各単元における基本事項の確認 ・各単元における練習問題、演習問題および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。  【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心をもち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。	○	○	○	13
定期考査				○	○		1

2 学 期	<p>第14章 統計的な推測 第15章 ベクトル 第16章 平面上の曲線と複素数平面</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念を正しく理解する。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、練習問題や演習問題レベルの問題を解くことができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・具体的な事象を数学的な規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・例題演習を通して、解答に至る考え方を理解し、その過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<p>・各単元における基本事項の確認 ・各単元における練習問題、演習問題および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・各単元の基本的な概念や原理、記号などを理解している。 ・各単元における公式などの基礎的な知識を身に付け、それらの活用の仕方を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・与えられた問題の規則性に着目して考察することで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>【巻末】実践問題 共通テスト 対策演習 予想問題演習</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の問題や原理を理解し、体系的な数学的知識を身に付ける。 ・各単元における公式などを導出過程から理解し、それらを活用して、共通テストで全国平均点以上を取ることができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・入試問題における複雑な条件や規則性を考察し、既習事項を組み合わせることで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・問題演習を通して、解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現する方法を学び、自身の考えを記述することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<p>・各単元における基本事項の確認 ・各単元における練習問題、演習問題および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・各単元の問題や原理を理解し、体系的な数学的知識を身に付けている。 ・各単元における公式などを導出過程から理解し、それらを活用して問題を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・複雑な条件や規則性に着目して考察することで、既習事項を組み合わせることで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現し、記述することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>【巻末】実践問題 共通テスト 対策演習 予想問題演習</p> <p>【知識・技能】 ・各単元の問題や原理を理解し、体系的な数学的知識を身に付ける。 ・各単元における公式などを導出過程から理解し、それらを活用して、共通テストで全国平均点以上を取ることができるようになる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・入試問題における複雑な条件や規則性を考察し、既習事項を組み合わせることで、数的に処理する方法を判断することができるようになる。 ・問題演習を通して、解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現する方法を学び、自身の考えを記述することができるようになる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的な事象と絡めた複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする姿勢を培う。</p>	<p>・各単元における基本事項の確認 ・各単元における練習問題、演習問題および課題提出 ・プリントを用いた発展演習 ・一人1台端末の活用</p>	<p>【知識・技能】 ・各単元の問題や原理を理解し、体系的な数学的知識を身に付けている。 ・各単元における公式などを導出過程から理解し、それらを活用して問題を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・複雑な条件や規則性に着目して考察することで、既習事項を組み合わせることで、数的に処理する方法を判断することができる。 ・解答に至る過程を数式や数学的表現を用いて的確に表現し、記述することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・複雑な問題に関心を持ち、既習事項を積極的に活用して様々な解法を検討し、問題を解こうとする。</p>				14
	合計						70

# 理科

高等学校 令和8年度（1学年用）

教科 理科 科目 物理基礎

教科 教科 理科

科目 物理基礎

単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（高等学校 物理基礎 改訂版（啓林館））

教科 教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 物理基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付ける。	自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	自然現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日常にみられる物体の運動について、物体の運動を表す変位、速度、加速度などの物理量を理解し、グラフや式を使って物体の運動を分析する。	速さと等速直線運動、変位と速度 速度の合成・相対速度 加速度、等加速度直線運動 重力加速度と自由落下 鉛直投げおろし・投げ上げ	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	摩擦及び液体や気体から受ける力（圧力、浮力、抵抗力）について理解し、物体にはたらく力と運動との関係を分析できるようにする。また、例題を学習することによって、物体にはたらくすべての力を求め、運動方程式を立てられるようにする。	力と質量、いろいろな力 力の合成・分解と力のつりあい 慣性の法則 力と質量と加速度の関係 運動の法則 作用・反作用の法則、摩擦力 運動方程式の利用	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	物理量としての仕事の意味を理解し、仕事と運動エネルギーの変化には、どのような関係があるか理解する。また、重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて公式を用いて理解する。	力がする仕事 仕事の原理と仕事率 運動エネルギー 位置エネルギー 力学的エネルギー保存の法則	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎 単位数 2 単位

対象学年組 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（改訂版 高等学校 生物基礎（数研出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付ける。	自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	自然現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	顕微鏡の基本操作、ミクロメーターの使い方、オオカナダモの観察等の実習をとおして、生物の多様性と共通性について理解させる。	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝 光合成と呼吸  プリント	【知識・技能】 ・自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	DNAの抽出実験をとおして、遺伝物質としてのDNAの理解を深めさせる。	遺伝情報とDNA 遺伝情報の複製と分配  プリント	【知識・技能】 ・自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	○	○	○	13
定期考査				○	○		1
2 学 期	遺伝情報が発現するしくみを理解させる。体内では神経系と内分泌系の二つの情報伝達の方法があり、調節されながら働いていることを理解させる。	遺伝情報の発現 体内での情報伝達と調節  プリント	【知識・技能】 ・自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然現象に関心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A ～H組

使用教科書：（化学基礎 academia 新訂版（実教出版））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象及び科学技術に関して、常に興味関心を持ち、解明しようとする探求心を持ち続ける。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探求する技能を身に付ける。また、模擬試験にて偏差値50以上の学力を身につける。	自然現象の中に問題を見出し、探求する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	自然現象に関心を持ち、意欲的に探求しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生活の中の化学について再発見をし、化学の役割について理解を深める。 物質が原子、イオン、分子から構成されていることを理解する。 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解する。 物質の種類と性質について学び、化学を学ぶことに意欲をもつ。 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、分子からなる物質の性質を理解する。さらに、分子間の結合によって物質ができていていることを理解する。 定期考査	化学と人間生活 物質の探求 物質の構成粒子 イオン結合 共有結合と分子間力	【知識・技能】 ・物質に関心を持ち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていること、物質の構造は、イオン結合・共有結合・金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを意欲的に探求しようとする。 【思考・判断・表現】 ・原子の電子の状態が物質の性質に大きく寄与していることを推論できる。 ・物質の性質は、化学結合によって異なることを代表的な物質の性質から比較できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学結合に関する観察、実験の操作や記録などの技能が習得でき、その結果より結論を表現できる。	○	○	○	13
	金属原子間の結合及び金属からなる物質の性質を理解する。 物質の結晶を、結合の違いによって区別し、性質を整理する。 具体的な物質について、それぞれ性質や利用例を理解する。 原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ぶ。 定期考査	金属結合 化学結合と物質 物質量	【知識・技能】 ・身近な物質について、結合によって区別し、性質や利用例を日常の事象と関連付けて探究しようとする。 ・代表的な物質の原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項や濃度との関係を関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探求しようとする。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの物質の性質を結合と関連付けて考えることができる。 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果から、自ら考えを導き出したり、レポートを作成したり、発表したりできる。	○	○	○	13
	物質量と溶液の濃度の関係を学ぶ。 化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。 化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解する。 定期考査	溶液の濃度 化学反応式 化学の基本法則	【知識・技能】 ・物質量の基本事項や濃度との関係を関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探求しようとする。 ・代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探求しようとする。 【思考・判断・表現】 ・化学変化には一定の量的関係があることや、物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。 ・化学反応式から物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。 【主体的に取り組む態度】 ・表や図のデータなどから物質の性質を分析できる能力を身につけ、観察、実験の過程や結果および数的な処理から、自ら考えを導き出したり、レポートを作成したり、発表したりできる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1





高等学校 令和8年度（2学年用）

教科 理科 科目 物理

教科 教科 理科

科目 物理

単位数 3 単位

対象学年組 第 2 学年 A 組 C 組 D 組 E 組

使用教科書 総合物理 1・総合物理 2（啓林館）

教科 科目 理科・物理 の目標：

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 理科・物理 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察・実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付ける。	自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	自然現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	平面の運動における位置や変位、速度、速度の合成・分解、相対速度、加速度についてや水平投射・斜方投射の運動、力のモーメント、剛体のつりあいなどを学習し理解する。	物理基礎の力学分野の復習 平面運動 放物運動 剛体にはたらく力	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	運動量と力積の関係を用いて、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。	運動量と力積 運動量保存の法則 反発係数	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学 期	等速円運動の基本事項を覚え、加速度と向心力を理解する。単振動と等速円運動の関係から、速度や加速度、復元力を表す式について理解する。ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。	円運動 慣性力と遠心力 単振動 万有引力による運動	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1



年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科

理科

科目 生物

教科: 理科

科目: 生物

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 2 学年 A 組、C組、D組、E組

使用教科書: ( 生物 (数研出版) )

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 生物

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生命現象についての基本的な概念や原理・法則について理解し、科学的な自然観を身につける。	生命現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	特に実習等授業など、自ら進んで参加することと共に班内で協力して執り行い、その内容をきちんとレポートにて報告ができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	生物を細胞生物学的に理解する。	生体物質と細胞 タンパク質の構造と性質 DNAの構造と複製 遺伝情報の発現	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	生物を分子生物学的に理解する。	遺伝子の発現調節 発生と遺伝子発現 遺伝子を扱う技術	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	
2 学期	生物進化を遺伝学的、進化学的に理解する。	遺伝子の変化と多様性 遺伝子の組み合わせの変化 進化のしくみ	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○		20
	定期考査						1
	生物を系統学的、進化学的に理解する。	生物の系統と進化 人類の系統と進化 生命の起源と生物の進化	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	

3 学 期	生物を生化学的に理解する。	化学反応にかかわるタンパク質 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 代謝とエネルギー 呼吸と発酵 光合成	<b>【知識・技能】</b> ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。 <b>【思考・判断・表現】</b> ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和8年度 (3学年用)

教科 理科 科目 物理発展

教科 教科 理科

科目 物理発展

単位数 4 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組 C 組 D 組

使用教科書 総合物理 1・総合物理 2 (啓林館)

教科 科目 理科・物理 の目標:

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 理科・物理発展 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察・実験を行い、基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録・整理し、自然現象を科学的に探究する技能を身に付ける。	自然現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現できる。	自然現象に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	○これまでの力学に静電気力を新たにプラスして物体の力学を考察できる。 ○電界はベクトル量、電位はスカラー量であること明確に理解し、電気力線・等電位面を正しく描け、目に見えない空間を正しく認識できる。 ○点電荷の周りの電界と一様な電界について理解し、静電気力による位置エネルギーと電位の計算ができる。 ○コンデンサー内の電界の様子を理解し、極板間に働く力や静電エネルギーについて計算できる。 ○抵抗を含む直流回路及び、コンデンサーを含めた直流回路の複雑な計算問題が解ける。	<b>電気と磁気・電流</b> 静電気 電位 コンデンサー 電流 直流回路 半導体	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	○磁界とは、電流がつくるものであることを理解する。 ○磁界を磁力線を用いて描ける。 ○電気では、電流が磁界から受ける力と電磁誘導が表裏の関係で最重要項目となるので対比して理解できる。 ○ローレンツ力や自己誘導、相互誘導も応用として考察できる。 ○交流では、交流の発生及びコイルとコンデンサーにおける電流と電圧の位相のずれを理解し、三角関数を用いて計算できる。	<b>電流と磁界・電磁誘導</b> 磁気力と磁界 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 ローレンツ力 電磁誘導の法則 磁界中を運動する導体棒 自己誘導と相互誘導 交流 電気振動と電磁波	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1	
2 学 期	○光の粒子性・物質の波動性を基礎として、原子核の周りを回る電子のエネルギーとその吸収・放出について理解する ○原子核の放射性崩壊を理解する ○結合エネルギーと核分裂・核融合を理解し、原子力発電の説明ができる ○素粒子を分類・整理して説明できる	<b>原子・分子の世界</b> 電子の電荷と質量 光の粒子性 X線 粒子の波動性 原子モデル 原子核と放射線 核反応と核エネルギー 素粒子と宇宙	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、暗記することなく自分の言葉でまとめることができる。 【思考・判断・表現】 ○教科書や問題集の問題に丁寧な導出過程を示しながら解ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度 (3学年用)

教科 理科 科目 物理演習

教科 教科 理科

科目 物理演習

単位数 2 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組 C 組 D 組

使用教科書 総合物理 1・総合物理 2 (啓林館)

教科 科目 理科・物理演習 の目標:

【知識及び技能】高校物理の全範囲の内容を系統的に整理し理解する

【思考力、判断力、表現力等】発展的内容の問題の解法を自分で組み立てられる

【学びに向かう力、人間性等】難問に取り組むことに喜びを見だし、自ら進んで取り組もうとする

科目 理科・物理発展 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
教科書、問題集、授業用ノートなどを復習し、自分なりに基本事項が身に付くよう内容を整理し、系統的にまとめる。実験に基づく証明・数学的な証明などについて、自然現象を科学的に探究する姿勢を持って論じられる。	発展的内容の問題の演習を通して、科学的思考力に基づく解法のストーリーを自分で考えることができるようになる。	難関大学の入試問題を解いたときに得られる新たな物理的な発見を得ることを楽しみながら発展的問題に積極的に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	大学入学試験では、標準的に大問3題程度が出題される。そのうち、必ず1題が力学分野である。物理の基礎的内容の力学分野が得意分野となるように、さまざまな問題を解くことで、解法を学ぶ。	1等加速度運動 2力のつりあい 3運動の法則 4抵抗力を受ける運動 5運動量の保存	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、問題解法において必要な事項を示すことができる ○標準的な問題について解法を丁寧に記述できる 【思考・判断・表現】 ○発展的な問題についても科学的な思考に基づく解法のストーリーを描ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○予習・復習を積極的に行い、習ったタイミングで内容を理解することを心掛け、スモールステップを確実に積み上げていく ○高い目標を持ち、計画的に学習する	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
	引き続き、力学分野の演習を行う。 熱学分野は、2回の入試問題に1回程度含まれてくる。力学分野と異なり、出題問題が限定されてくるので、練習した成果が表れやすい分野である。 波の基本性質を確認する。	6円運動・万有引力 7単振動・単振り子 8熱と気体の法則 9気体分子の運動と状態変化 10波の性質	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、問題解法において必要な事項を示すことができる ○標準的な問題について解法を丁寧に記述できる 【思考・判断・表現】 ○発展的な問題についても科学的な思考に基づく解法のストーリーを描ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○予習・復習を積極的に行い、習ったタイミングで内容を理解することを心掛け、スモールステップを確実に積み上げていく ○高い目標を持ち、計画的に学習する	○	○	○	12
定期考査				○	○		2
2 学	波動分野は、よく出題される頻出分野である。特に光波の干渉に関する問題は、定番問題といえるので、頻出問題を中心に練習する。 電磁気分野は力学と並んで必ず1題は出題される重要分野であるので、得点源となるよう、解法を学ぶ。	11音波 12光波 13静電気力と電場 14コンデンサー 15直流回路	【知識・技能】 ○各単元の重要事項・法則等を理解し、問題解法において必要な事項を示すことができる ○標準的な問題について解法を丁寧に記述できる 【思考・判断・表現】 ○発展的な問題についても科学的な思考に基づく解法のストーリーを描ける。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○予習・復習を積極的に行い、習ったタイミングで内容を理解することを心掛け、スモールステップを確実に積み上げていく ○高い目標を持ち、計画的に学習する	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2



高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学

教科 理科

科目 化学

単位数 6 単位

対象学年組 第 3 学年 A 組 , C 組 , D 組

使用教科書 ( 化学 academia (実教出版) )

教科 理科

の目標 :

【知識及び技能】 自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象および科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象および科学技術に関して、常に興味関心を持ち、解明しようとする探求心を持ち続ける。

科目 化学

の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事象・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。大学入学共通テストで平均点以上を取れる知識及び技能を身につける。	化学的な事象・現象を対象に、探究の過程を通して仮設の設定、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また、実験レポートを作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身に付ける。	化学的な事象・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気体、液体、固体の性質を観察、実験などを通して探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解する。</li> <li>・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連させて理解する。</li> <li>・結晶格子の概念および結晶の構造を理解する。</li> <li>・気体の体積と圧力や温度との関係を理解する。</li> <li>・溶液のしくみ、溶解度を溶解平衡と関連づけて理解する。</li> <li>・身近な現象を通して溶媒と溶液の違いを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学と物質</li> <li>・状態変化</li> <li>・固体の構造</li> <li>・気体の性質</li> <li>・溶液</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の沸点、融点を分子間力や化学結合と関連づけて理解している。また、状態変化に伴うエネルギーの出入りおよび状態間の平衡と温度や圧力との関係について理解している。</li> <li>・結晶格子の概念および結晶の構造について理解し、身近な物質を例にしたり、結晶構造のモデルを用いたりして、特徴を観察する技能を身につけている。</li> <li>・気体の体積と圧力や温度変化との関係を理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・状態間の平衡について、気液平衡や蒸気圧を例に考察することができる。</li> <li>・固体の構造の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。</li> <li>・気体の法則や希薄溶液の示す性質などについて化学的に考察し、その考えを説明することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の状態変化を日常生活や社会に関連させ、探究、考察しようとする。</li> <li>・気体、液体、固体が示すさまざまな性質に着目し、共通の事象について規則性を予測しようとする。</li> </ul>	○	○	○	41
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応の前後における物質のもつ化学エネルギーの差から生じることを理解する。</li> <li>・外部から加えられた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こることを理解する。その反応に関与した変化量と電気量との関係を理解する。</li> <li>・電池は酸化還元反応によって電気エネルギーを取り出すしくみであることを理解する。</li> <li>・反応速度の表し方および反応速度に影響を与える要因を理解する。</li> <li>・可逆反応、化学平衡および化学平衡の移動を理解する。</li> <li>・水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応と熱・光エネルギー</li> <li>・化学反応と電気エネルギー</li> <li>・反応の速さとしくみ</li> <li>・化学平衡</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応における熱および光の発生や吸収は、反応前後における化学エネルギーの差から生じる事を理解している。</li> <li>・外部から加えた電気エネルギーによって、電極で酸化還元反応が起こること、またその反応に関与した物質の変化量と電気量との関係を理解している。</li> <li>・可逆反応や化学平衡の移動、水のイオン積、pH、弱酸、弱塩基の電離平衡、溶解度積などについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応に伴って熱、光、電気エネルギーの出入りがあること、温度・濃度・触媒の影響などを受けることを、代表的な物質の反応や性質の比較から推論することができる。</li> <li>・温度・濃度・触媒などが反応の速さに影響することを意欲的に探究・考察しようとする。</li> <li>・化学平衡になる典型的な反応について、実証的・論理的に分析し、科学的に考えることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・化学反応に伴うさまざまなエネルギーの出入りがあることを意欲的に探究・考察しようとする</li> <li>・化学平衡などの複雑なしくみがあることを、意欲的に探究・考察しようとする。</li> </ul>	○	○	○	41
定期考査			○	○		1



高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 理科 科目 化学基礎演習

教科： 理科 科目： 化学基礎演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 自由選択科目

使用教科書：（ 化学基礎academia（実教出版） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象および科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象および科学技術に関して、常に興味関心を持ち、解明しようとする探求心を持ち続ける。

科目 化学基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事象・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。大学入学共通テストで平均点以上を取れる知識及び技能を身に付ける。	化学的な事象・現象を対象に、探究の過程を通して仮設の設定、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また、実験レポートを作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身に付ける。	化学的な事象・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・物質の分離と生成、元素、物質の三態と熱運動、原子の構造について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。	・物質の分離と生成 ・物質と元素 ・物質の三態と熱運動 ・原子の構造	【知識・技能】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した思考力・判断力を身に付け、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	・化学結合、物質量、溶液の濃度、化学反応式と量的関係について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。	・化学結合 ・物質量 ・溶液の濃度 ・化学反応式と量的関係	【知識・技能】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した思考力・判断力を身に付け、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	・酸と塩基の性質、pH、中和反応について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。	・酸と塩基 ・水素イオン濃度とpH ・中和反応、中和滴定	【知識・技能】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した思考力・判断力を身に付け、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。				13
	定期考査			○	○		1
	・酸化還元反応について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。 ・化学基礎の総合的な内容について、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。	・酸化還元反応 ・大学入試総合問題	【知識・技能】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・学習内容について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した思考力・判断力を身に付け、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。				13
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学基礎の総合的な内容について、大学入試に対応できる知識・思考力を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試総合問題</li> </ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学すべての範囲について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した知識・技能を理解し身につけることができる。</li> </ul> <p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>化学すべての範囲について、大学入学共通テストレベルの入試問題に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。</li> </ul> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</li> </ul>	○	○	○	14
							合計
							70

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学演習

教科: 理科 科目: 化学演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: ( 化学 academia (実教出版) )

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自然現象および科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象および科学技術に関して、常に興味関心を持ち、解明しようとする探求心を持ち続ける。

科目 化学演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。大学入学共通テストで平均点以上を取れる知識及び技能を身に付ける。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して仮設の設定、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得する。また、実験レポートを作成したり発表したりして、科学的に探究する力を身に付ける。	化学的な事物・現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>・2年で学習した化学基礎の内容について、それぞれの各単元のつながりを理解しつつ、問題を解けるようにする。・物質の状態変化について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・固体の構造、結晶構造について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・化学反応とエネルギーの関係性について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。</p>	<p>・化学基礎の内容の復習・状態変化・固体の構造・化学反応と熱・光エネルギー・化学反応と電気エネルギー</p>	<p>【知識・技能】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>・気体の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・溶液の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・反応の速さとしくみについて理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・化学平衡について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。</p>	<p>・気体の性質・溶液の性質・反応の速さとしくみ・化学平衡</p>	<p>【知識・技能】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>・無機物質の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・有機化合物の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。</p>	<p>・無機物質(非金属元素)・無機物質(金属元素)・有機化合物の構造決定・脂肪族炭化水素・酸素を含む脂肪族炭化水素</p>	<p>【知識・技能】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>・無機物質の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・有機化合物の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。・高分子化合物の性質について理解し、大学入試に対応できる知識・思考力を身に付ける。</p>	<p>・無機物質(遷移元素)・無機物質総合問題・芳香族化合物・高分子化合物・大学入試総合問題</p>	<p>【知識・技能】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した知識・技能を理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】・学習内容について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>・総合的な内容について、大学入試に対応できる知識・思考力を身につける。</p>	<p>・大学入試総合問題</p>	<p>【知識・技能】・化学すべての範囲について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した知識・技能を理解し身につけることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】・化学すべての範囲について、大学入学共通テストや国公立大二次試験、私大入試に対応した思考力・判断力を身につけ、論述問題や記述問題に対応することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・大学入試問題に対し、主体的に学習しようとする意欲があり、自ら意欲的に既習内容の探求・考察をしようとする。</p>	○	○	○	14
							合計 85



高等学校 令和8年度

教科

理科

科目 生物基礎演習

教科： 理科 科目： 生物基礎演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組 ~H組

使用教科書： ( 生物基礎 数研出版 )

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 自然現象及び科学技術に関して、科学的に理解し、正しい判断ができる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然現象及び科学技術に関し、常に興味関心を持ち、解明しようとする探究心を持ち続ける。

科目 生物基礎演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「生物基礎」の問題演習を通して、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を身につける。とくに実験・観察の問題演習では、科学的な思考力・判断力を身につける。	問題演習を通じて、生命現象の疑問を見つけ出し、探究する過程を通して、事物を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自ら進んで問題演習に取り組み、その内容をきちんとレポートにて報告ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生物の特徴 遺伝子とそのはたらき	生物の多様性と共通性・エネルギーと代謝・光合成と呼吸・遺伝情報とDNA・遺伝情報の複製と分配・遺伝情報の発現	<b>【知識・技能】</b> ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。  <b>【思考・判断・表現】</b> ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	ヒトの体内環境の維持 生物の多様性と生態系	体内での情報伝達と調節・体内環境の維持のしくみ・免疫のはたらき・植生と遷移・植生の分布とバイオーム・生態系と生物の多様性・生態系のバランスと保全		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
2 学 期	大学入学共通テスト対策	大学入試問題演習	<b>【知識・技能】</b> ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。  <b>【思考・判断・表現】</b> ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	大学入学共通テスト対策	大学入試問題演習		○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	大学入学共通テスト対策	大学入試問題演習	<b>【知識・技能】</b> ○各単元の重要事項・法則等を理解し、基本用語の定着の上で、自分の言葉でまとめることができる。  <b>【思考・判断・表現】</b> ○教科書や問題集の問題を通じ、思考・判断し、それらを表現することができる。  <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> ○各単元の主題に対する間に予め自分なりの答を用意してから授業に臨む。 ○学習後は日常の科学的事象に興味を持ち、積極的に考察する姿勢を持ち続ける	○	○	○	10
							合計
							70



# 保 健 体 育

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（新高等 保健体育 改訂版）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けられることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】体づくり運動の学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>・体ほぐしの運動</p> <p>・体力を高める運動</p>	<p>【知識・技能】定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	
<p>単元 球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察などを理解することができるようにする。役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と作戦に応じた技術で仲間と連携したゲームを展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	球技	<p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察などを理解することができる。役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と作戦に応じた技術で仲間と連携したゲームを展開することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	14
<p>単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方に動かすことができるようにする。プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動きで大きく進むことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、ごうりてきな動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たすことができるようにする。</p>	<p>・クロール</p> <p>・平泳ぎ</p>	<p>【知識・技能】水面上の腕は、ローリングの動きに合わせてリラックスして前方に動かすことができる。プルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動きで大きく進むことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】選択した泳法について、ごうりてきな動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとすることができる。</p>	○	○	○	
<p>単元 体育理論</p> <p>【知識及び技能】スポーツは人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関りを見出したりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>1 スポーツの発祥と成り立ち</p> <p>2 スポーツ文化の発展と現代社会</p> <p>3 オリンピック・パラリンピックと国際社会</p>	<p>【知識及び技能】スポーツは人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関りを見出したりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に、主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	14



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（新高等 保健体育 改訂版）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法やヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取組むことができるようにする。	1 日本における健康課題の変遷 2 健康の考え方と成り立ち 3 ヘルスプロモーションと健康にかかわる環境づくり 4 健康に関する意思決定・行動選択	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力、判断力、表現力等】国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法やヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取組んでいる。	○	○	○	7
	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることや、その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることについて理解したことを言ったり書き出したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取組むことができるようにする。	5 現代における感染症問題 6 感染症の予防 7 性感染症・エイズとその予防	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】現代の感染症とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取組むことができる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがんの健診の普及、正しい情報の発信など社会的な必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取組むことができるようにする。	8 生活習慣病の予防と回復 9 身体活動・運動と健康 10 食事と健康 11 休養・睡眠と健康 12 がんの予防と回復	単元 現代社会と健康 【知識及び技能】生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがんの健診の普及、正しい情報の発信など社会的な必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。 【学びに向かう力、人間性等】生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に自主的に取組むことができる。	○	○	○	7



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 新高等 保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解できるようにする。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができるようにする。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】仲間課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・実生活に生かす運動の計画</li> </ul>	<p>【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を工夫して立案している。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】仲間課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。</p>	○	○	○	
<p>B 単元 《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとするなど、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果</p>	<p>器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる</p>	<p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとするなど、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果</p>				

を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】  
陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

《球技》  
【知識・技能】  
多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力】  
生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。

【学びに向かう力、人間性】  
球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。

《ダンス》  
【知識及び技能】  
感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。

【思考力、判断力、表現力】  
生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること

【学びに向かう力、人間性等】  
ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること

D 単元 水泳  
【知識及び技能】各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解できるようにする。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をとらえ、肘を曲げながらかくことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

・クロール  
・平泳ぎ  
・背泳ぎ

たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。

《球技》  
【知識・技能】  
多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。

【思考力、判断力、表現力】  
生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性】  
球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。

《ダンス》  
【知識及び技能】  
感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。

【思考力、判断力、表現力】  
生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】  
ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。

【知識・技能】水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をとらえ、肘を曲げながらかくことができる。

【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。

【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。

○	○	○
○	○	○

<p>G 単元 ダンス</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○現代的なリズムのダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズムの取り方</li> <li>・基本ステップ</li> <li>・ヒップホップ</li> </ul> <p>○創作ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活動作</li> <li>・対極の動き</li> <li>・個や群の動き</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒップホップでは、リズムの特徴を捉えたステップやターンなどの組合せに上半身の動きを付けたり、音楽の拍に乗せ（オンビート）で膝の曲げ伸ばしによる重心の上下動を意識したリズム（ダウンやアップのリズム）を強調してリズムに乗ったり、リズムに変化を与えるためにアクセントの位置をずらしたりして自由に踊ることができる。</li> <li>・リズムの取り方や床を使った動きなどで変化を付けたり、身体部位の強調などで動きにメリハリを付けて、二人組や小グループで掛け合って全身で自由に踊ろうとしている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】 体力や技能の程度、性別等の違いを越えて、仲間とともにダンスを楽しむための調整の仕方を見付けることができる。それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 仲間課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○
<p>F 単元 柔道</p> <p>【知識及び技能】 技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを理解できるようにする。相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身をとることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受け身：横受け身・後ろ受け身</li> <li>・投げ技：取は〔体落とし・釣り込み腰〕をかけて投げ、受は受け身をとる。</li> <li>・固め技（けさ固め）</li> </ul>	<p>【知識・技能】 技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを言ったり書き出したりしている。相手の投げ技に応じて横受け身、後ろ受け身をとることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武道の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○
<p>H 単元 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 オープンスキルの技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキルの技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解することができるようにする。技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることに理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツにおける技術と戦略</li> <li>2 スポーツにおける技能と体力</li> <li>3 技能の上達過程と練習の考え方</li> </ol>	<p>【知識及び技能】 オープンスキルの技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキルの技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることに理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○

<p>D 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解することができるようにする。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリー動作を行うことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>・背泳ぎ ・時間泳</p>	<p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、学習した具体例を挙げている。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリー動作を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>
<p>E 単元 《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】 入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲たえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《球技》</p> <p>【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め</p>	<p>器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる</p>	<p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】 入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲たえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《球技》</p> <p>【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め</p> <p>《ダンス》</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をする</p>	<p>○ ○ ○</p>

<p>合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《ダンス》 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互</p>		<p>ことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>				
<p>G 単元 ダンス</p> <p>【知識及び技能】感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○フォークダンス ・マイムマイム ・ボルカ ・ミクサー等</p> <p>○創作ダンス ・対極の動き ・個や群の動き ・グループ創作</p>	<p>【知識及び技能】 ・「伸びる-落ちる-回る-転がる」では、体をゆっくりとした動作で極限まで伸ばし、瞬間的に脱力して床に崩れ落ち、ゆっくりと回る・転がるなどのひと流れの動きをしたり、歩く・走るなどのつなぎの動きを入れて繰り返したりして表現することができる。 ・2～3群に分かれてタイミングをずらした動き（カノン）、全体で統一した動き（ユニゾン）、密集-分散、縦・横・斜めの列や円に並ぶなど、群の動きや隊形を工夫して空間が変化するように表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを越えて、仲間とともにダンスを楽しむための調整の仕方を見付けることができる。それぞれのダンスに応じて、表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】仲間課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	
<p>F 単元 柔道</p> <p>【知識及び技能】技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを理解できるようにする。投げ技において小内刈りや大内刈りができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>・受け身：横受け身・後ろ受け身・前回り受け身 ・投げ技：取は〔小内刈り・大内刈り〕をかけて投げ、受は受け身をとる ・固め技（けさ固め・横四方固め）</p>	<p>【知識・技能】技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを言ったり書き出したりしている。投げ技において小内刈りや大内刈りができる。</p> <p>【思考・判断・表現】見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	21
<p>H 単元 体育理論</p> <p>【知識及び技能】運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>4 効果的な動きのメカニズム 5 体力トレーニング 6 運動やスポーツでの危険予知と安全確保</p>	<p>【知識及び技能】運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	

3 学 期	<p>C 単元 陸上競技</p> <p>【知識・技能】リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができるようにする。自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることができるようにする。</p>	<p>○長距離走 (時間走・1500M走・2000M走・3000M走)</p>	<p>【知識・技能】リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに陸上競技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることができる。</p>	○	○	○
	<p>E 単元 球技</p> <p>【知識及び技能】ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○バドミントン &lt;基本技能&gt; ・各種ストローク ・ルールの確認 ・ゲーム</p>	<p>【知識及び技能】球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解できる。変化のある送球に対応して面を合わせてレシーブしたり、相手の攻撃に応じて仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度・性別等の違いを超えて仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を身に付けることができる。練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、自己や仲間課題を解決しようとするなど互いに助け合い、高め合おうとすることができる。</p>	○	○	○
	<p>G 単元 ダンス</p> <p>【知識及び技能】感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○創作ダンス ・グループ作品創作（作品にまとめて踊り、発表する）</p>	<p>【知識及び技能】 ・テーマを選び、ストーリー性のあるはこびで、一番表現したい中心の場面にふさわしい「緩急強弱のあるひと流れの動き」で表現して、繰り返しや時間・力・空間の変化と強調によって、ダイナミックな盛り上がりをつけて作品にまとめて踊ることができる。 ・交流や発表の仕方には、それぞれのダンスに応じた交流や発表の形態、ステージの使い方、音響や衣装などのテーマに応じた選び方があることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】それぞれのダンスに応じて、表現したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】仲間の表現や踊りを認め合うなど、互いに共感し高め合おうとしたり、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとしている。</p>	○	○	○
	<p>F 単元 柔道</p> <p>【知識及び技能】技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを理解できるようにする。固め技においてけき固め、横四方固め、上四方固め、連絡技ができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>・受け身：横受け身・後ろ受け身・前回り受け身 ・投げ技：取は〔背負い投げ〕をかけて投げ、受は受け身をとる ・固め技（けき固め・横四方固め・上四方固め・連絡技）</p>	<p>【知識・技能】技の名称や武道特有の運動観察の方法である見取り稽古の仕方があることを言ったり書き出したりしている。固め技においてけき固め、横四方固め、上四方固め、連絡技ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】見取り稽古などから、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、練習の成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○
						合計
						105

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組～H組

使用教科書：（新高等 保健体育）

教科 保健体育 の目標：心と体を一体として捉え、健康の保持増進と運動を継続する資質・能力を育成する

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面・心理面・行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりすることができるようにする。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、性に関する情報等に適切な対応が必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりできるようにする。結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり、書いたりできるようにする。受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解したことを言ったり、書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見できるようにする。生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、道筋を立てて説明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生涯の各段階における健康について、課題の解決にむけた学習に主体的に取り組むことができるようにする。	第3章 生涯を通じる健康 1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康	単元 生涯を通じる健康 【知識・技能】思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面・心理面・行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、性に関する情報等に適切な対応が必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを言ったり、書いたりしている。受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解したことを言ったり、書いたりしている。 【思考・判断・表現】生涯の各段階における健康について、健康に関わる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連づけたりして、自他や社会の課題を発見しようとしていく。生涯の各段階における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、道筋を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】生涯の各段階について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	生涯を通じる健康 【知識及び技能】家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受信などの自己管理を行うこと、生きがいをもち、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流を持つことなどが関係することについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護の必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】加齢と健康について習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】生涯の各段階における健康について、課題の解決にむけた学習に主体的に取り組むことができるようにする。	5 家族計画 6 加齢と健康 7 高齢社会に対応した取り組み	【知識・技能】家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解したことを言ったり書いたりしている。中高年期を健やかに過ごすためには、若いときから、健康診断の定期的な受信などの自己管理を行うこと、生きがいをもち、運動やスポーツに取り組むこと、家族や友人などとの良好な関係を保つこと、地域における交流を持つことなどが関係することについて理解したことを言ったり書いたりしている。高齢期には加齢に伴い、心身の機能や形態が変化すること、疾病や事故のリスクが高まること、健康の回復が長期化する傾向にあることなどを理解したり、書いたりしている。高齢社会では、認知症を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保持、介護の必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】加齢と健康について習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】生涯の各段階について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6

	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>【知識及び技能】労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い、質や量が変化してこたことについて理解したり書いたりできるようにする。人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解したことを言ったり書いたりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他の社会の課題を発見できるようにする。環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、自他や社会の課題を発見できるようにする。食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】労働災害と健康について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができるようにする。環境と健康について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>8働くことと健康 9労働災害の防止 10働く人の健康づくり</p> <p>第4章 健康を支える健康づくり 1 大気汚染と健康</p>	<p>【知識・技能】労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い、質や量が変化してこたことについて理解したり書いたりしている。</p> <p>人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚染を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあるということについて理解したことを言ったり書いたりしている。食品の安全性を確保することは健康の保持増進にとって重要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】労働と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他の社会の課題を発見しようとしている。環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、自他や社会の課題を発見しようとしている。食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】労働災害と健康について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。環境と健康について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。食品と健康について課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>【知識及び技能】健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、汚染物質を適切に処理したりすることの必要性について理解したことを言ったり書いたりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして自他や社会の課題を発見できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】環境と健康について、課題の解決にむけた学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>2水質汚濁・土壌汚染と健康 3健康被害を防ぐための環境対策 4環境衛生に関わる活動 5食品の安全性と健康 6食品の安全性を確保する取り組み</p>	<p>【知識・技能】健康への影響や被害を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、汚染物質を適切に処理したりすることの必要性について理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして自他や社会の課題を発見できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】環境と健康について、課題の解決にむけた学習に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	<p>D 単元 健康を支える健康づくり</p> <p>【知識及び技能】人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、保健・医療サービスが提供されていることについて理解したことを言ったり、書いたりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】保健・医療制度について健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして自他や社会の課題を発見できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】保健・医療制度について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>7保健制度とその活用 8医療制度とその活用 9医薬品の制度とその活用 10様々な保健活動や対策 11誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり</p>	<p>【知識・技能】人々の健康を支えるための保健・医療制度が存在し、保健・医療サービスが提供されていることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】保健・医療制度について健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして自他や社会の課題を発見しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】保健・医療制度について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
	定期考査						1
						合計	35

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 3 単位

対象学年組： 第3 3学年 A組～ H組

使用教科書： （ 新高等 保健体育 ）

教科 保健体育 の目標： 心と体を一体として捉え、健康の保持増進と運動を継続する資質・能力を育成する

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 体育 の目標： 心と体を一体として捉え、運動を継続する資質・能力や体力の向上を図る

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 体づくり運動 【知識及び技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解できるようにする。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができるようにする。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を工夫して立案している。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	
E 単元 《器械運動》 【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讀たえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。  《陸上競技》 【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の	器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる	E 単元 《器械運動》 【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。 【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讀たえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。  《陸上競技》 【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、				

<p>1 学期</p>	<p>仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《球技》  <b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《ダンス》  <b>【知識及び技能】</b>          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること</p>	<p>・クロール          ・平泳ぎ          ・背泳ぎ</p>	<p>競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《球技》  <b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《ダンス》  <b>【知識及び技能】</b>          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>
	<p>D 単元 水泳  <b>【知識及び技能】</b>各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解できるようにする。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をどらせ、肘を曲げながらかくことができるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>		<p><b>【知識・技能】</b>水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をどらせ、肘を曲げながらかくことができる。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p>

<p>H 単元 体育理論</p> <p>【知識及び技能】オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解することができるようにする。技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながることに、理解することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>1 ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</p> <p>2 ライフスタイルとスポーツの楽しみ方</p>	<p>【知識及び技能】各ライフステージにおける楽しみ方は、個人のスポーツ経験や学習によって育まれたスポーツに対する欲求や考え、健康や体力を求める必要性や個人の健康目標などによっても変化するものであることを理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】ライフスタイルに応じたスポーツとのかかわり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して学習に主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	21
<p>D 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解することができるようにする。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリ動作を行うことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<p>・クロール</p> <p>・平泳ぎ</p> <p>・背泳ぎ</p>	<p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、学習した具体例を挙げている。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリ動作を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	21
<p>E 単元</p> <p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲たえようすること、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールや</p>	<p>器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる</p>	<p>E 単元</p> <p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を譲たえようすること、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《球技》</p>				

<p>マナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《球技》  <b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>《ダンス》  <b>【知識及び技能】</b>          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保すること</p>		<p><b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p> <p>《ダンス》  <b>【知識及び技能】</b>          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする事、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○
<p>日単元 体育理論  <b>【知識及び技能】</b>運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解することができるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況に関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見することができるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>3 スポーツ推進のための施策と課題          4 豊かなスポーツライフが広がる未来の社会</p>	<p><b>【知識及び技能】</b>スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり、様々な人々とつながりやすくなるなどの可能性がある反面、過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り、人間関係を悪化させるなどの問題点があることを理解できる。  <b>【思考力、判断力、表現力等】</b>豊かなスポーツライフが広がる社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して学習に主体的に取り組むことができる。</p>	○	○	○

**Ⅱ 単元**  
**《器械運動》**  
**【知識及び技能】**  
 入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たえようとして、互いに助け合い高め合おうとすること。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

**《陸上競技》**  
**【知識及び技能】**  
 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

**《球技》**  
**【知識、技能】**  
 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及びの目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。  
**【学びに向かう力、人間性】**  
 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとして、合意形成に貢献しようとして、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとして、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。

**《ダンス》**  
**【知識及び技能】**  
 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとして、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる

**《器械運動》**  
**【知識及び技能】**  
 入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たえようとして、互いに助け合い高め合おうとすること。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。

**《陸上競技》**  
**【知識及び技能】**  
 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとして、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること。一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。

**《球技》**  
**【知識、技能】**  
 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及びの目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。  
**【学びに向かう力、人間性】**  
 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとして、合意形成に貢献しようとして、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとして、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。

**《ダンス》**  
**【知識及び技能】**  
 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。  
**【思考力、判断力、表現力】**  
 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。  
**【学びに向かう力、人間性等】**  
 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとして、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

○ ○ ○

<p>決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力】</b> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること</p>		<p>ができる。</p>				
					合計	
						105

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育(選択)

教科: 保健体育 科目: 体育(選択) 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 A組~ H組

使用教科書: (新高等 保健体育)

教科 保健体育 の目標: 心と体を一体として捉え、健康の保持増進と運動を継続する資質・能力を育成する

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的に生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 体育(選択) の目標: 心と体を一体として捉え、運動を継続する資質・能力や体力の向上を図る

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができるようにする。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養うことができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元 体づくり運動 【知識及び技能】 自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解できるようにする。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案することができるようにする。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	【知識・技能】 自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書き出したりしている。体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考・判断・表現】 生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を工夫して立案している。仲間との話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。	○	○	○	
E 単元 《器械運動》 【知識及び技能】 入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとして、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる	《器械運動》 【知識及び技能】 入学年次の次の年次(その次の年次)以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。 【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとして、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。				

<p>《陸上競技》 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>		<p>《陸上競技》 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力】 他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>
<p>《球技》 【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>		<p>《球技》 【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>
<p>《ダンス》 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>		<p>《ダンス》 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすること。 【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>

<p>D 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解できるようにする。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をとりえ、肘を曲げながらかくことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール</li> <li>・平泳ぎ</li> <li>・背泳ぎ</li> </ul>	<p>【知識・技能】水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。入水した手は、肩のローリングによって手のひらをやや下側に向けて水をとりえ、肘を曲げながらかくことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	14
--	---	---	---	---	---	----

	<p>D 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解することができるようにする。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリー動作を行うことができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール</li> <li>・平泳ぎ</li> <li>・背泳ぎ</li> </ul>	<p>【知識及び技能】課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、学習した具体例を挙げている。かき終わりで肘を伸ばした後、力を抜き、肩のローリングを使ってリズムよくリカバリー動作を行うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	14
	<p>E 単元</p> <p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる</p>	<p>《器械運動》</p> <p>【知識及び技能】入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>				
2 学期	<p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>		<p>《陸上競技》</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	14

<p>《球技》</p> <p>【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>		<p>《球技》</p> <p>【知識、技能】 多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	
<p>《ダンス》</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>		<p>《ダンス》</p> <p>【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	

<p>E 単元  <b>＜器械運動＞</b>  <b>【知識及び技能】</b>          入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにする。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにする。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするこ</p>	<p>器械運動、陸上、球技、ダンスの中から種目を3つ設定し、選択させる</p>	<p><b>＜器械運動＞</b>  <b>【知識及び技能】</b>          入学年次の次の年次（その次の年次）以降の器械運動では、多様な楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び器械運動に主体的に取り組むとともに、公正、協力、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          器械運動に主体的に取り組むとともに、よい演技を讃たたえようとする、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする、健康・安全を確保することができる。</p>				
<p><b>＜陸上競技＞</b>  <b>【知識及び技能】</b>          記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>		<p><b>＜陸上競技＞</b>  <b>【知識及び技能】</b>          記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          他領域の学習も踏まえてこれまで学習した知識や技能を活用したり応用したりして、自己や仲間の課題を見直したり、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫したりしたことなど、自己や仲間の考えたことを、筋道を立てて他者に伝えられるようにすることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性等】</b>          陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>				
<p>3 学期  <b>＜球技＞</b>  <b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>		<p><b>＜球技＞</b>  <b>【知識、技能】</b>          多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方などを理解するとともに、仲間と連携しゲームを展開すること、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題に取り組み、考えたことを他者に伝えること及び目標及び球技に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などの意欲を育み、健康・安全を確保することができるようにすることができる。  <b>【思考力、判断力、表現力】</b>          生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができる。  <b>【学びに向かう力、人間性】</b>          球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	14

<p>《ダンス》</p> <p>【知識及び技能】          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができる。</p>		<p>《ダンス》</p> <p>【知識及び技能】          感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】          生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】          ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができる。</p>			
					合計 70

# 芸 術

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年）教科

芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（「高校生の音楽 I」教育芸術社）

教科 芸術

の目標

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技術を身につける。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができる。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
・高校の音楽学習への意欲を養う。また、自分にとっての音楽の存在を再認識するとともに様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとする態度を養う。 ・曲に対するイメージを豊かにしたり、共感したりしながら歌唱表現を創意工夫する手立てを学ぶ。	○オリエンテーション ○歌唱 校歌 二部合唱	○		○		【知識】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。 【技能】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技術、他者との調和を意識して歌う技術を身につけ、歌唱で表現している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
・他者との調和を意識したり、アンサンブルの特徴を生かしたりしながら、自分たちのイメージをもって表現を創意工夫する。体の様々な部位を使って音色を工夫したり、構成を工夫したりしながら表したいイメージをもって演奏する。	○リズムアンサンブル		○	○	○	【知識】音の重なりや連りによる響きの特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【思考・判断・表現】リズムを知覚し、それらの働きを感じながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 【主体的に取り組む態度】音色や構成を工夫しながらイメージをもって演奏することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
・鍵盤楽器の奏法を身につけるとともに、技術の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	○鍵盤楽器		○			【知識】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技能】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけ、器楽で表している。 【主体的に学習に取り組む態度】奏法を身につけることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12
・オペラやミュージカルなど総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかを考える。	○鑑賞			○		【知識】曲想と音楽の構造や歌詞、文科・歴史的背景との関わり、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽との構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、わが国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの動きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考えて聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】総合芸術において物語と音楽が関わり合いながら、どのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響し合って発展してきたかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2



期	<p>・英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。</p>	○英語の歌唱				<p>【知識】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。</p> <p>【技能】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけ、歌唱で表している。</p> <p>【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えて聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>				6
---	---	--------	--	--	--	---	--	--	--	---

合計

70

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ 「美術 I」 光村図書出版株式会社 ）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を競ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞					
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を概観し、高校美術の学習内容を把握する。</li> <li>教科書や画集の作品鑑賞を通じ作品の多様性に気づくとともに、「美しさ」とは何かについて考える。</li> <li>作品制作によって美術に対する自分の見方や考え方を高める。</li> </ul>	○オリエンテーション 美術学習の意義を知る	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容をよく理解し、主体的に美術の創造活動に取り組んでいる。</li> <li>片付けや作品・道具の管理ができています。</li> <li>提出物の期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	2
	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッサンを描くための基本的な知識、用具や材料の使い方や特性などを理解する。</li> <li>鉛筆デッサンのためのワークシートを作製する。</li> <li>鉛筆で5段階のグラデーションを作成し、鉛筆の色幅と描写を学ぶ。</li> </ul>	○デッサンの基礎① 鉛筆の削り方、使い方 グラデーションの描写の仕方	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>技法を理解し、学習したことが作品に反映されている。</li> <li>片付けや作品・道具の管理ができています。</li> <li>提出物の期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>立体デッサンでのグラデーションの使い方を学習する。</li> <li>パースペクティブ（遠近法）について理解し、描法を学ぶ。</li> <li>デスケルを用いて配置の決定方法や構図の取り方について学ぶ。</li> </ul>	○デッサンの基礎② 立体模型を描く 静物デッサン	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに表現方法を創意工夫している。</li> <li>片付けや作品・道具の管理ができています。</li> <li>提出物の期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	11
	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッサンの学習で学んだ、明暗の表現方法を応用する。</li> <li>モチーフの特徴をよく観察し、質感や量感の捉え方を学習する。</li> </ul>	○石膏デッサン 基礎学習で習得した 様々な描法表現の実践	○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容をよく理解し、主体的に美術の創造活動に取り組んでいる。</li> <li>片付けや作品・道具の管理ができています。</li> <li>提出物の期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	11
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッサンの学習で学んだ、明暗の表現方法を応用する。</li> <li>コントラストについて理解し、線描法を習得する。</li> <li>自由な発想で表現し、作品を創造する喜びを知る。</li> </ul>	○スクラッチ 明暗を意識し、立体を表現する	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動に関心をもち、主体的に表現や鑑賞に取り組んでいる。</li> <li>感性や想像力を働かせて、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>作品制作に必要な技能を身につけ、表現方法を工夫している。</li> </ul>	○	○	○	14
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクリルガッシュでの色の塗り方、表現方法を学ぶ。</li> <li>色の三属性や色相関係を理解する。</li> <li>色彩を重視して平面を構成する。</li> <li>形的美しさや配色の面白さを工夫する。</li> <li>グラデーションや補色関係にも留意する。</li> </ul>	○平面構成 アクリルガッシュで描く		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的にデザインの表現の創造活動に取り組んでいる。</li> <li>デザインの機能や効果、表現形成の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>提出物の完成度と期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	14
3 学	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸の技法を学ぶ。</li> <li>伝統的な模様や図案等を参考に作品のデザインを構想する。</li> <li>素材や形の特性に留意して作品のデザインを決定する。</li> </ul>	○立体工芸	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容をよく理解し、主体的に美術の創造活動に取り組んでいる。</li> <li>感性や想像力を働かせて創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>作品制作に必要な技能を身につけ、表現方法を工夫している。</li> </ul>	○	○	○	10

<p>丁期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインに沿って細部まで表現する。</li> <li>・相互に鑑賞することで互いの作品について、意見交換し、他者および自己への理解を深める。</li> </ul>	<p>○作品の鑑賞 「美術 I」の学習のまとめ</p>	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容をよく理解し、主体的に美術の創造活動に取り組んでいる。</li> <li>・美術作品など表現の工夫や美術文化を理化し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。</li> <li>・提出物の期限遵守状況。</li> </ul>	○	○	○	4
										合計
										70

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（「書 I」光村図書）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などを幅広く理解し、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書の美等を感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味等を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>書写、書道の基本を理解する。</li> <li>漢字の書の歴史を理解し、書的美に関心をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢、執筆法、用具、用材の扱い方</li> <li>漢字の書の変遷</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>用具、用材等の基本的知識を理解し、執筆法を身につけたか。</li> <li>漢字の歴史と様々な書体を理解し、鑑賞できたか。</li> </ul>	○	○	○	14	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の特徴を理解し、字形や筆法を学ぶ。</li> <li>創作の手順を理解し、創作方法を学ぶ。</li> <li>漢字と仮名の調和を学ぶ。</li> <li>手作りの書作品の良さを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 楷書の学習</li> <li>古典作品の鑑賞と臨書</li> <li>鑑賞</li> <li>2 漢字仮名交じりの書の学習①</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書の特徴や筆者による書風の違いを理解し、字形や用筆の特徴が表現できたか。</li> <li>古典の学習をふまえ、主体的に意図に基づく表現ができたか。</li> <li>漢字（楷書）と仮名の調和を理解し、目的や用途に即した効果的な表現の工夫ができたか。</li> <li>作品の良さを味わうことができたか。</li> </ul>	○	○	○	14	
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の特徴を理解し、字形や用筆法を学ぶ。</li> <li>篆刻の技法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 篆書の学習</li> <li>古典作品の鑑賞と臨書</li> <li>4 篆刻の学習</li> <li>篆刻印の作製</li> </ul>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>篆書の特徴を理解し、蔵鋒による用筆と字形の特徴が表現できたか。</li> <li>制作手順をふまえ、作業に集中し、篆書体の特徴を生かした印を作製できたか。</li> </ul>	○	○	○	14	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の特徴を理解し、字形や用筆法を学ぶ。</li> <li>紙面構成等を工夫した創作方法を学ぶ。</li> <li>漢字と仮名の調和を学ぶ。</li> <li>表現の工夫や効果を味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 行書の学習</li> <li>古典作品の鑑賞と臨書</li> <li>鑑賞</li> <li>6 漢字仮名交じりの書の学習②</li> </ul>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>行書の特徴を理解し、筆脈を重視した用筆の表現ができたか。</li> <li>古典の学習をふまえ、主体的に構想し紙面構成等の表現の工夫ができたか。</li> <li>漢字（行書）と仮名の調和を理解し、表現の工夫ができたか。</li> <li>表現の工夫や効果を味わい感性を高めることができたか。</li> </ul>	○	○	○	14	
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の成立、変遷を理解し、基本的用筆法を学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 仮名の書の学習</li> <li>平仮名、変体仮名、連綿</li> </ul>			○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の歴史や書の伝統と文化を理解したか。</li> <li>小筆による仮名の書の表現技法を身につけたか。</li> </ul>	○	○	○	10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>仮名の律動性、流動美を学ぶ。</li> <li>仮名の技法、構成の工夫を学ぶ。</li> <li>仮名の書的美しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典作品の鑑賞と臨書</li> <li>創作と鑑賞</li> </ul>			○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>鑑賞を通して、流動美等を味わい、古典の書風に即した用筆の表現ができたか。</li> <li>仮名の用筆法を生かし、散らし書き等、構成や題材を工夫した表現ができたか。</li> <li>創作の意図を理解し、作品の美しさを味わうことができたか。</li> </ul>	○	○	○	4
合計											70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年）教科

芸術

科目 ピアノ研究

教科：芸術

科目：ピアノ研究

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（

）

教科 芸術

の目標

- 【知識及び技能】 音楽教育に必要な要素について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 音楽教育に必要な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽教育に必要な豊かな情操を培う。

科目 ピアノ研究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽的基礎・基本能力を高め、自分の演奏にかかすことができる。 ・幼児教育等に必要音楽的基礎・基本能力や実技技能の習得をめざす。	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもつことができる。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表すことができる。	・音楽活動に関心を持ち、主体的に音楽表現の学習や演奏活動に取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	音楽を形作る素要素の基礎基本を理解する	○オリエンテーション ○音の長さ ○音の高さ ○記号		○			・音楽系進路や幼児教育等の実践に必要な音楽的基礎・基本能力の定着（ソルフェージュ）	○	○	○	15
	器楽演奏に必要なリズムを正確に体感しながら演奏する能力を育む。	○リズム打ち ○ピアノ（独奏、弾き歌い）	○	○	○		・音楽系進路や幼児教育等の実践に役立つ実技練習（ピアノ演奏・歌唱・弾き歌い）	○	○	○	15
2 学 期	音楽を形作る素要素の基礎基本を理解する	○音程 ○音階 ○和音		○			・音楽系進路に向けた基礎的な音楽理論・コード伴奏を習得できたか	○	○	○	15
	表現に気を付けながら、演奏することが出来る	○リズム ○ピアノ（独奏、弾き歌い）	○	○	○		・音楽系進路や幼児教育等の実践に役立つ実技練習（ピアノ演奏・歌唱・弾き歌い）	○	○	○	15
3 学 期	緊張感のある雰囲気の中、表現意図をもった演奏をする。	○発表会	○	○	○		・人前での緊張感のある中、正確なリズムで表現意図をもった演奏をすることができる。 ・他者の演奏を楽しみ、批評することができる。	○	○	○	10
											合計
											70



外 国 語

(英 語)

高等学校 令和8年度（1学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションI 単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

使用教科書：（New Rays English Communication I Revised Edition）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】音声や文法等の理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションで活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や状況などに応じて、情報や意図を理解したり、適切に表現したりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションI の目標：模試の数値目標 平均偏差値55

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴や決まりである音声、句読法、語彙や慣用表現、文構造及び活用頻度の高い文法事項について理解するとともに、実際のコミュニケーションで活用できる技能を身に付けることができる。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして情報を整理し、考えをまとめて英語で表現したり、伝えあったりすることができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書						
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】時制と基本的な文構造を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】エッセイの形式にあった表現を使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ内容を活用できる。	Lesson 1 Follow the Voice of Your Heart 文法：時制、基本的な文構造 言語活動：エッセイの感想を伝える。意見交換を通じて、考えを広げる。	○	○	○	○	○	・時制や基本的な文構造を理解し、適切に使用することができる。 ・他者と積極的に意見交換している。	○	○	○	5
	Lesson 2 【知識及び技能】接続詞とV+0+do[形容詞/分詞]を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】説明文の形式にあった表現を使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ内容を活用できる。	Lesson 2 The Power of Design 文法：接続詞、V+0+do[形容詞/分詞] 言語活動：提供する情報の構成や状態を説明する表現を意識して英語で表現する。	○	○	○	○	○	・接続詞とV+0+do[形容詞/分詞]を理解し、適切に使用することができる。 ・他者と積極的に意見交換している。	○	○	○	8
	定期考査		○	○			○		○	○		1
	Lesson 3 【知識及び技能】現在完了形、現在完了進行形、および受動態を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】対話文やプレゼンテーションの表現を使うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ内容を活用できる。	Lesson 3 The Cool Food: Kakigori 文法：現在完了、現在完了進行形、受動態 言語活動：食文化等を比較し、共通点と相違点などを説明する表現を使う。	○	○	○	○	○	・現在完了形、現在完了進行形、受動態を理解し、適切に使用することができる。 ・他者と積極的に意見交換している。	○	○	○	8
	Lesson 4 【知識及び技能】関係代名詞の制限用法と過去完了形及び過去完了進行形を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】雑誌記事の説明文を読み、考えを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ内容を活用できる。	Lesson 4 Orihime - A Vehicle of Your Heart 文法：関係代名詞の制限用法、過去完了形、過去完了進行形 言語活動：ロボットについての説明の構成を理解し、適切に表現を使う。	○	○	○	○	○	・関係代名詞の制限用法、過去完了形、過去完了進行形を理解し、適切に使用することができる。 ・他者と積極的に意見交換している。	○	○	○	7
定期考査								○	○		1	



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅰ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

使用教科書： ( MAINSTREAM English Logic and Expression I Second Edition )

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 音声や文法等の理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションで活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解したり、適切に表現したりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標： 模試の数値目標 平均偏差値 55

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
コミュニケーション活動を通して獲得する知識及び技能の習得状況について、評価規準を用いて形成的評価をするとともに、それらを概念等として理解したり、技能を習得したりしているかについて評価する。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況等に応じて、慣れ親しんだ語句や表現を使って、話される内容を理解したり、自分の考えや気持ちを表現したりしているかどうかを評価する。	自分の考えや気持ちを伝え合うことの楽しさや言葉の大切さを実感しながら粘り強く学習に取り組み、問題解決の過程を振り返って改善しようとする態度を身につけているか、自ら英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけているかを評価する。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Lesson 1・2 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	文の要素やあいさつの表現について理解させ、それらを活用して、自分の名前について話したり、書いたりさせる。 現在形の性質や理由を述べる表現を理解させ、それらを活用して、自分の好きな音楽について話したり、書いたりさせる。			○	○	○	○	○	○	○	6
Lesson 3・4 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	過去形の性質や確認する表現を理解させ、それらを活用して、自分の大切なものについて話したり、書いたりさせる。 未来を表す表現や誘いを受たり断ったりする表現を理解させ、それらを活用して、週末の予定について話したり、書いたりさせる。			○	○	○	○	○	○	○	7
1 学 期 定期考査						○	○	○	○	○	1
Lesson 5・6 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	進行形の用法や希望を述べる表現を理解させ、それらを活用して、クラブ活動について話したり、書いたりさせる。 現在完了形・現在完了進行形の用法や説明をする表現を理解させ、それらを活用して、クラブ活動について話したり、書いたりさせる。			○	○	○	○	○	○	○	6
Lesson 7・8 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	過去完了形の用法や報告する表現を理解させ、それらを活用して、入学してからこれまでの高校生活について話したり、書いたりさせる。 動名詞の用法や提案する表現を理解させ、それらを活用して、学校行事について自分の希望を話したり、書いたりさせる。			○	○	○	○	○	○	○	7
定期考査						○	○	○	○	○	1

2 学 期	Lesson 9・10 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	不定詞の用法や助言する表現を理解させ、それらを活用して、けがや病氣、健康について話したり、書いたりさせる。 分詞の用法や賛成する・反対する表現を理解させ、それらを活用して、遠足におすすめの場所とその理由について話したり、書いたりさせる。							○	○	○	○	○	○	14
	Lesson 11・12 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	比較の用法や意見を述べる表現を理解させ、それらを活用して、夏と冬のどちらがよいかについて自分の意見とその根拠を話したり、書いたりさせる。 助動詞の用法や理由を述べる表現を理解させ、それらを活用して、本物の犬とロボットの犬のどちらを飼いたいかについて自分の意見とその根拠を話したり、書いたりさせる。							○	○	○	○	○	○	14
3 学 期	Lesson 13・14 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	受け身の用法や引用する表現を理解させ、それらを活用して、もっと時間をかけて学ぶべき教科について自分の意見とその根拠を話したり、書いたりさせる。 仮定法の用法や列挙する表現を理解させ、それらを活用して、おすすめの本についてブックレビューを書かせる。							○	○	○	○	○	○	7
	Lesson 15・16・17 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	関係代名詞・関係副詞や依頼する表現を理解させ、それらを活用して、やってみたいボランティアとその理由についてまとめ、メールを書かせる。 接続詞の用法や誘う表現を理解させ、それらを活用して、外国人に日本の食べ物をおすすめするリーフレットを書かせる。 否定の用法や働きかける表現を理解させ、それらを活用して、ごみ削減に関する施策を打ち出す学級新聞を書かせる。							○	○	○	○	○	○	7
													合計	70	

高等学校 令和8年度（2学年用）教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書： （ FLEX English Communication Ⅱ ）

教科 外国語 の目標： ベネッセ模試 全国平均得点率以上

- 【知識及び技能】 音声や文法等の理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションで活用する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解したり、適切に表現したりできる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に知識を活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、英語を聞いたり読んだりして得られた情報等を活用しながら、話したり書いたりして、自分の考え等を適切に表現する。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
Lesson 1, 2 【知識及び技能】 必要な情報を読み取ったり聞いたりするために必要な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだり聞いたりして得られた情報等を活用して自分の考え等を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る素地を育む。	Lesson 1 Anime Pilgrimages ・受け身の不定詞 ・受け身の進行形						【知識及び技能】 各単元の音声、語句、文構造等について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の内容に関連したテーマについて自分の考えなどを適切に表現したり伝え合ったりできる。  【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、主体的にコミュニケーションを取ろうとしている。				27
	Lesson 2 Iwaya Keisuke and the Pursuit of Dreams ・助動詞+完了形 ・受け身の完了形										1
	Lesson 3 The surprising History of Salt ・ If 節のない仮定法 ・ 動名詞の意味上の主語										27
Lesson 3, 4 【知識及び技能】 必要な情報を読み取ったり聞いたりするために必要な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだり聞いたりして得られた情報等を活用して自分の考え等を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る素地を育む。	Lesson 4 A Future World, with or without Sea Turtles ・ as if を用いた仮定法 ・ 疑問詞+ to do						【知識及び技能】 各単元の音声、語句、文構造等について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の内容に関連したテーマについて自分の考えなどを適切に表現したり伝え合ったりできる。  【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、主体的にコミュニケーションを取ろうとしている。				1
	Lesson 5 The Psychology of Waiting in line ・ 同格を導く that ・ 関係副詞の非制限用法										27
	Lesson 6 The Human Library ・ 否定の分詞構文 ・ 完了形の不定詞										1
Lesson 5, 6 【知識及び技能】 必要な情報を読み取ったり聞いたりするために必要な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだり聞いたりして得られた情報等を活用して自分の考え等を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る素地を育む。	Lesson 7 More Than Hust Shelters ・ 部分否定 ・ 仮定法過去						【知識及び技能】 各単元の音声、語句、文構造等について理解している。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の内容に関連したテーマについて自分の考えなどを適切に表現したり伝え合ったりできる。  【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対して理解を深め、主体的にコミュニケーションを取ろうとしている。				27
	Lesson 8 Infectious Diseases and Humans ・ 付帯状況の with ・ 受け身の分詞構文										1
	Lesson 5, 6 【知識及び技能】 必要な情報を読み取ったり聞いたりするために必要な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 読んだり聞いたりして得られた情報等を活用して自分の考え等を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながらコミュニケーションを図る素地を育む。										1



高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科： 外国語 科目： 論理・表現Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ be English Logic and Expression II Smart ）

教科 外国語 の目標： 言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに、論理的な思考力を養い、論理の展開や表現の方法を工夫し、伝える能力を養う。

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
1 学 期	Lesson1 Future Plans 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○					【題材】 将来の夢 【題材に関するタスク】 将来の夢に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。将来の夢について話したり、文章を書いたりする。【文法】 動詞の時制について学んで理解する。時や状況に応じて動詞の時制を正しく使う。	○	○	○	5
	Lesson2 Free Time at Home 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○				【題材】 家で過ごす時間 【題材に関するタスク】 家で過ごす時間に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。家で過ごす時間について話したり、文章を書いたりする。【文法】 不定詞・動名詞・名詞節について学んで理解する。伝えたいことに応じて不定詞・動名詞・名詞節を正しく使う。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	Lesson3 Student Life 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○			【題材】 学校生活 【題材に関するタスク】 学校生活に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。学校生活について話したり、文章を書いたりする。【文法】 助動詞について学んで理解する。伝えたいことに応じて助動詞を正しく使う。	○	○	○	6
	Lesson4 What You've Learned through Experience 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等				○		【題材】 体験から学んだこと 【題材に関するタスク】 体験から学んだことに関する文章を読んだり聞いたりして理解する。体験から学んだことについて話したり、文章を書いたりする。【文法】 形容詞・分詞の形容詞用法について学んで理解する。伝えたいことに応じて形容詞・分詞の形容詞用法を正しく使う。	○	○	○	6
	定期考査								○	○		1
	Lesson5 Modern Conveniences 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	○					【題材】 現代社会の利便性 【題材に関するタスク】 現代社会の利便性に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。現代社会の利便性について話したり、文章を書いたりする。【文法】 形容詞句について学んで理解する。伝えたいことに応じて形容詞句を正しく使う。	○	○	○	6
	Lesson6 The Information Society 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等			○			【題材】 情報社会 【題材に関するタスク】 情報社会に関する文章を読んだり聞いたりして理解する。情報社会について話したり、文章を書いたりする。【文法】 関係代名詞・関係副詞について学んで理解する。伝えたいことに応じて関係代名詞・関係副詞を正しく使う。	○	○	○	6







高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科：外国語 科目：論理・表現Ⅲ 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

使用教科書：（EARTHRISE English Logic and ExpressionⅢ）

教科 外国語 の目標：到達目標：大学入学共通テスト 平均点以上

【知識及び技能】音声や文法等の理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションで活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や状況などに応じて、情報や意図を理解したり、適切に表現したりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
より高度な文法・語法等の英語の仕組みを学び、英語で話したり書いたりするうえで習得すべき知識や重要な概念等を理解する。	知識及び技能を活用して、英語で話したり書いたりするために必要な思考力、判断力、表現力を身に付ける。	書いたものや発話をを振り返り、改善することでより良いコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書					
Lesson 1, 2, 3 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。  【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	Lesson 1 ・英語でメールを書く ・Coming to Japan Lesson 2 ・英語でメールを書く ・Online shopping Lesson 3 ・英語でメールを書く ・Preparing to study abroad			○	○					13	
		定期考査				○					1
		Lesson 4, 5, 6 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。  【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	Lesson 4 ・英語で意見を述べる ・24-hours stores Lesson 5 ・英語で意見を述べる ・Smart agriculture Lesson 6 ・英語で意見を述べる ・Aiman : the household robot			○	○				
定期考査						○					1
Lesson 7, 8, 9 【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。  【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。  【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。	Lesson 7 ・イラストを説明する ・Recipes Lesson 8 ・イラストを説明する ・A helping hand Lesson 9 ・申込書・応募書類を作成する ・International Science Fair					○	○				
		定期考査				○					1







高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 外国語 科目 Step Up English II（コミュニケーション英語II）

教科： 外国語 科目： Step Up English II（コミュニケーション英語II） 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（BLUE MARBLE English Communication III（副教材：Make Your Ascent to Better English R）

教科 外国語 の目標： 到達目標：大学入学共通テスト 平均点以上

【知識及び技能】 音声や文法等の理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションで活用する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解したり、適切に表現したりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 相手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 Step Up English II（コミュニケーション英語II） の目標： 到達目標：大学入学共通テスト 7割以上

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
文法や文構造等の理解を深め、これらの知識を長文読解で活用する技能を身に付ける。	目的や状況などに応じて、情報や意図を理解し、適切に判断する力を養う。	英語を自律的に学習する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「や 」	話 「発 」					
Unit 1-2 【知識及び技能】 文法や文構造等の理解を深め、これらの知識を長文読解で活用する技能を身に付ける。  【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解し、適切に判断する力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 英語を自律的に学習する態度を養う。  定期考査	Unit 1-2 長文読解演習 ・教育、人生 ・言語、コミュニケーション			○	○					13
					○					
Unit 3-4 【知識及び技能】 文法や文構造等の理解を深め、これらの知識を長文読解で活用する技能を身に付ける。  【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解し、適切に判断する力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 英語を自律的に学習する態度を養う。  定期考査	Unit 3-4 長文読解演習 ・時事、社会 ・科学、生物			○	○					13
					○					
Unit 5-6 【知識及び技能】 文法や文構造等の理解を深め、これらの知識を長文読解で活用する技能を身に付ける。  【思考力、判断力、表現力等】 目的や状況などに応じて、情報や意図を理解し、適切に判断する力を養う。  【学びに向かう力、人間性等】 英語を自律的に学習する態度を養う。  定期考査	Unit 5-6 長文読解演習 ・文化、国際理解 ・歴史、文明			○	○					13
					○					

2 学 期	<p>Unit 7</p> <p>【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。</p>	<p>Unit 7</p> <p>長文読解演習 ・フィクション、エッセイ</p> <p>600語台の長文① 600語台の長文②</p>					○	○	○	○	○	13
	定期考査						○				○	○
3 学 期	<p>【知識及び技能】 各単元の文法項目について意味や働きを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各単元の文法項目を使って自分のことや身近な人のことなどについて表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分の書いたものや発話を振り返り、改善点を見出す。</p>	大学入試過去問演習					○	○	○	○	○	13
	定期考査						○				○	○
											合計	
												70





# 家 庭

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ H 組

使用教科書：（ 新家庭基礎 気づく力 築く未来 ）

教科 家庭

の目標： 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

【知識及び技能】 男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 持続可能な社会の構築を目指して健康や環境に配慮しながら自立して生活する能力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】 青年期を起点として自分の生き方を考えさせ、子どもや高齢者などの異なる世代と関わり共に生きる力を育成

科目 家庭基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活の意義や役割を理解し、家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識、技術を身に付けている。	家庭や地域の生活について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し工夫し創造する能力を身に付けている。	家庭や地域の生活について関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>単元 これからの生き方と家族、生活をデザインしよう、次世代をはぐくむ</p> <p>【知識及び技能】生活を主体的に営むために単元で学んだ基礎的なことについて理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会からの問題発見、課題設定、解決策の構想、実践と評価を経て考察したことを論理的に表現する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題に主体的に取り組み、家庭や地域の生活の向上を図るために実践する力を身に付けさせる。</p>	<p>○青年期を生きる</p> <p>1. 自分らしい人生とは</p> <p>2. 青年期の課題</p> <p>3. ワーク・ライフ・バランス</p> <p>4. 男女の平等と相互の協力</p> <p>○家族・家庭と社会とのかかわり</p> <p>1. 家族とは？ 家庭とは？</p> <p>2. 家族・家庭の働き</p> <p>3. これからの生活をつくる</p> <p>4. 家族に関する法律</p> <p>○生活をデザインしよう</p> <p>1. これからの生活を考える</p> <p>2. 自分の一生を自分らしく生きるために</p>	<p>【知識・技能】青年期の生き方や自立、家族・家庭と社会との関わり、生涯設計、子どもの発達、親の役割、子育て支援と福祉について理解し、それらに関わる技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】ライフステージや子どもを取り巻く様々な課題について、問題発見、課題設定、解決策の構想、実践と評価を経て考察したことを論理的に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】社会で起こっている様々な課題について、関心を持ち、問題解決をはかろうとする意欲を持って話し合い、学び合おうとする姿勢がみられる。</p>	○	○	○	14
		<p>○子供の発達</p> <p>1. 次世代をはぐくむ</p> <p>2. 命のはじまり</p> <p>3. 子どもの体の発育・発達</p> <p>4. 子どもの心の発達</p> <p>5. 子どもと遊び</p> <p>○親の役割</p> <p>1. 親と子の関係</p> <p>2. 乳幼児期の生活</p> <p>○子育て支援と福祉</p> <p>1. 子育て支援と地域社会の関わり</p> <p>2. 子どもの権利と福祉</p>		○	○	○	
	定期考査						
1 学 期	<p>単元 充実した生涯へ、高齢期を生きる、ともに生きる</p> <p>【知識及び技能】生活を主体的に営むために単元で学んだ基礎的なことについて理解しているとともにそれらに係る技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会からの問題発見、課題設定、解決策の構想、実践と評価を経て考察したことを論理的に表現する力を身に付けさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題に主体的に取り組み、家庭や地域の生活の向上を図るために実践する力を身に付けさせる。</p>	<p>○高齢期を生きる</p> <p>1. 高齢期をどう生きるか</p> <p>2. 高齢期の生きがいと就労・社会参加</p> <p>3. 高齢者を知る</p> <p>○高齢社会を支え合う</p> <p>1. 高齢社会の現状と課題</p> <p>2. 高齢者やその家族の支援システム</p> <p>3. 高齢者の尊厳を支える</p> <p>○ともに生きる</p> <p>1. 社会保障制度と福祉</p> <p>2. ともに生きる社会をめざして</p>	<p>【知識・技能】高齢期の生き方、心身の特長、社会保障制度と福祉について理解し、それらに関わる技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】豊かな高齢社会、共生社会に向けての様々な課題について、問題発見、課題設定、解決策の構想、実践と評価を経て考察したことを論理的に表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】社会で起こっている様々な課題について、関心を持ち、問題解決をはかろうとする意欲を持って話し合い、学び合おうとする姿勢がみられる。</p>	○	○	○	13
				○	○	○	
	定期考査				○	○	



# 情 報

年間授業計画

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 情報科 科目 情報Ⅰ

教科： 情報科 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第1学年 A組～H組

使用教科書：（ 7実教 情Ⅰ007-902 最新情報Ⅰ 新訂版 ）

教科 情報科 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学期	A オリエンテーション	・生徒の知識・技能・経験などについてアンケート調査を行う ・コンピュータの基本的な使い方、コンピュータ教室でのマナーを理解する					1
	B Webページと情報デザイン ・効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し、表現する技能を身に付ける	・電子メールについて学ぶ ・HTMLの基礎について学ぶ ・Webサイトの設計やWebページの構成を学ぶ ・Webページの制作について学ぶ ・視覚的な表現の工夫について学ぶ	【知識・技能】 ・HTMLタグやCSSセレクタの働きを理解できる ・Webページの特徴や作成方法について理解できる 【思考・判断・表現】 ・意図したデザインにするためのHTMLタグやCSSセレクタを適切に選択できる ・Webサイトの情報構造を考え、適切に設計することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・電子メール作成における作法を積極的に身に付けようとしている ・Webページの制作に意欲的に取り組んでいる ・情報をわかりやすく伝達するために、自ら改善しようとしている	○	○	○	8
	C 情報のデジタル化 ・アナログとデジタルの違いとデジタル情報の特徴やメリットを理解する ・ビットの概念、2進法、16進法について学び、数のデジタル表現、文字のデジタル表現を理解する ・音、画像、動画のデジタル化の原理を理解する	・アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴について学ぶ ・情報量・ビット・バイトについて学ぶ ・数値の表現について学ぶ ・文字の表現について学ぶ ・音のデジタル化のしくみについて学ぶ ・画像のデジタル化のしくみについて学ぶ	【知識・技能】 ・アナログとデジタルのそれぞれの特徴や違いを理解している ・表現できる情報の数およびその単位について理解している ・2進数、10進数、16進数をそれぞれ相互に変換する方法を理解している ・コンピュータにおける文字表現である文字コードの特徴について理解している ・音やデジタル化の仕組みについて理解している ・画像のデジタル化について理解している 【思考・判断・表現】 ・アナログデータとデジタルデータを比較し、その違いについて説明することができる ・ビット数と表現できる情報の数の関係について説明することができる ・2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現することができる ・文字と文字コードの関係を理解し、それらを適切に変換することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・音のデジタル化の学習について興味・関心をもって取り組んでいる ・解像度や階調を変える実験に興味・関心をもって取り組んでいる	○	○	○	8
	D インターネットの仕組み ・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルについて理解する ・IPアドレス、ドメイン名、URLとDNSによるインターネットでのウェブ閲覧、電子メールの原理やしくみを理解する	・IPアドレスについて学ぶ ・ドメイン名と名前解決について学ぶ ・Webページの閲覧の仕組みについて学ぶ ・電子メールの送受信の仕組みについて学ぶ	【知識・技能】 ・IPv4やIPv6の表記について理解し、2進、10進、16進数で表現できる ・ドメイン名の管理の仕組みを理解している 【思考・判断・表現】 ・Webページの仕組みについて、データの流れを追いながら説明できる ・電子メールの仕組みについて、データの流れを追いながら説明できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習に意欲的に取り組んでいる ・Webページや電子メールの仕組みの学習に興味・関心を示している	○	○	○	4

	E 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の考え方について学ぶ</li> <li>問題解決の手順について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の目的や状況に応じて、適切な方法を選択することの重要性を考える</li> <li>問題解決の過程と結果について評価し、改善することの意義や重要性を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>問題解決の考え方について理解している</li> <li>問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>問題解決の手順について具体的な例を挙げて説明することができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>実習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	F 安全のための情報技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>パスワード管理について学ぶ</li> <li>不正アクセスへの対策について学ぶ</li> <li>暗号化やデジタル署名について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザ認証、アクセス制御など、情報セキュリティを高める技術について理解する</li> <li>情報の暗号化の原理やしきみ、通信の信頼性を確保するための方法について理解する</li> <li>情報セキュリティを脅かす事例やコンピュータウイルスについて知り、その対策の具体例を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>不正アクセス行為についてどのようなものがあるか理解している</li> <li>共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違いを理解している</li> <li>デジタル署名のしくみを理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>パスワードの重要性やコンピュータウイルスについて正確にまとめられる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>パスワードの重要性や情報セキュリティについて関心を持っている</li> </ul>	○	○	○	6
	G 知的財産権	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業財産権について学ぶ</li> <li>著作権（著作権（財産権）、著作者人格権）について学ぶ</li> <li>著作物の利用、著作権の侵害について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>著作権などの知的財産権の保護の必要性を理解する</li> <li>知的財産権の保護のために必要な法規及び個人の責任について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>知的財産権の概要について理解し、経済や文化の発展との関係を理解している</li> <li>著作者と伝達者の権利についての法規やルールについて理解している</li> <li>著作物の利用や著作権法の権利制限規定について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>著作権と産業財産権における権利の取得の違いを説明できる</li> <li>保護対象や期間について説明することができる</li> <li>著作権法の権利制限規定の意義について考えることができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>著作物の利用に関し、著作権を侵害しないように取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	4
2 学 期	H 個人情報とその扱い	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報とプライバシーについて学ぶ</li> <li>個人情報の活用について学ぶ</li> <li>匿名加工情報の利用について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>個人情報やプライバシーの概念を理解している</li> <li>プライバシー権、肖像権、パブリシティ権について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>オプトイン、オプトアウトについて説明することができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>個人情報の適正な活用について関心を持っている</li> </ul>	○	○	○	2
	I 統計量とデータ処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>表計算ソフトウェアの関数の利用について学ぶ</li> <li>表計算ソフトウェアによるデータの可視化について学ぶ</li> <li>統計量とその計算方法について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>データの形式に関する知識やデータの収集方法、データの種類について理解する</li> <li>数学的なデータ分析の基礎を理解し、表計算ソフトウェアなどを使って簡単な数学的データ処理や分析を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>表計算ソフトの関数を使って目的の量を計算することができる</li> <li>表計算ソフトウェアのグラフ作成機能を使って目的のグラフを作成することができる</li> <li>表計算ソフトウェアの関数を使って統計量を計算することができる</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>必要な情報を得るための適切なグラフを選択することができる</li> <li>おもな基本統計量について説明することができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>実習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	6
	J データベースの仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースとその役割について学ぶ</li> <li>蓄積されたデータの活用について学ぶ</li> <li>リレーショナルデータベースの特徴について学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>データベース管理システムの機能やデータの損失を防ぐしくみについて理解する</li> <li>データベースが活用されている情報システムについて、その種類や特徴、それらが社会生活に果たす役割と影響を理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>データベースやDBMSについて理解している</li> <li>テーブル、レコード、フィールド、リレーションシップについて理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>身近なデータベースについて例を挙げて説明することができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>リレーショナルデータベースの学習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	3
	K モデル化とシミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化とシミュレーションについて学ぶ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化とシミュレーションの考え方や方法を理解し、実際の問題解決に活用できるようにする</li> <li>モデルの違いによって結果や精度が異なる場合があることを理解する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【知識及び技能】</li> <li>モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>モデルの分類に関し、身のまわりの具体的な事例で説明することができる</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>実習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

3 学 期	L アルゴリズムとプログラミング ・問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を習得する ・プログラミング言語の実行のしくみについて理解する ・簡単なプログラムの作成を通してアルゴリズムやプログラミングの基本を理解する ・コンピュータによる処理手順の自動実行の有用性を理解する	・アルゴリズムとプログラミングについて学ぶ ・プログラムの基本構造（順次構造、選択構造、繰り返し構造）を学ぶ ・演算子や変数について学ぶ ・プログラム作成上の基本ルールについて学ぶ ・配列の仕組みについて学ぶ ・関数の機能について学ぶ ・探索プログラムの作成方法について学ぶ ・整列プログラムの作成について学ぶ	<b>【知識及び技能】</b> ・簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる ・変数の役割について理解している ・配列の役割や要素、添字について理解している ・関数の概念、関数の種類について理解している <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> ・様々な演算子の機能について説明することができる ・配列の宣言、値の代入の方法を説明することができる ・作成したプログラムが正しいかどうかを考察することができる <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> ・プログラム作成に意欲的に取り組んでいる	○	○	○	14	
	定期考査に代えて、作品、レポート等提出物で評価							
							合計	70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 情報科 科目 情報Ⅰ演習

教科： 情報科 科目： 情報Ⅰ演習 単位数： 1 単位

対象学年： 第2学年

使用教科書：（ 7実教 情Ⅰ703 高校情報Ⅰ Python ）

教科 情報科 の目標：

【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする

【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報Ⅰ演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	担当 時数
1 学 期	A 情報社会の問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の考え方について学ぶ</li> <li>問題解決の手順について学ぶ</li> <li>産業財産権について学ぶ</li> <li>著作権（著作権（財産権）、著作者人格権）について学ぶ</li> <li>著作物の利用、著作権の侵害について学ぶ</li> <li>個人情報とプライバシーについて学ぶ</li> <li>個人情報の活用について学ぶ</li> <li>匿名加工情報の利用について学ぶ</li> <li>パスワード管理について学ぶ</li> <li>不正アクセスへの対策について学ぶ</li> <li>暗号化やデジタル署名について学ぶ</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の考え方について理解している</li> <li>問題や問題解決の意味、問題解決の基本的な手順について理解している</li> <li>知的財産権の概要について理解し、経済や文化の発展との関係を理解している</li> <li>著作者と伝達者の権利についての法規やルールについて理解している</li> <li>著作物の利用や著作権法の権利制限規定について理解している</li> <li>個人情報やプライバシーの概念を理解している</li> <li>プライバシー権、肖像権、パブリシティ権について理解している</li> <li>不正アクセス行為についてどのようなものがあるか理解している</li> <li>共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違いを理解している</li> <li>デジタル署名のしくみを理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の手順について解答することができる</li> <li>著作権と産業財産権における権利の取得の違いについて解答することができる</li> <li>保護対象や期間について解答することができる</li> <li>著作権法の権利制限規定の意義について解答することができる</li> <li>オプトイン、オプトアウトについて解答することができる</li> <li>パスワードの重要性やコンピュータウイルスについて解答することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	○	○	○	6
	B コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子メールについて学ぶ</li> <li>HTMLの基礎について学ぶ</li> <li>Webサイトの設計やWebページの構成を学ぶ</li> <li>Webページの制作について学ぶ</li> <li>視覚的な表現の工夫について学ぶ</li> <li>アナログ・デジタル・デジタルデータの特徴について学ぶ</li> <li>情報量・ビット・バイトについて学ぶ</li> <li>数値の表現について学ぶ</li> <li>文字の表現について学ぶ</li> <li>音のデジタル化のしくみについて学ぶ</li> <li>画像のデジタル化のしくみについて学ぶ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>HTMLタグやCSSセレクタの働きを理解できる</li> <li>Webページの特徴や作成方法について理解できる</li> <li>アナログとデジタルのそれぞれの特徴や違いを理解している</li> <li>表現できる情報の数およびその単位について理解している</li> <li>2進数、10進数、16進数をそれぞれ相互に変換する方法を理解している</li> <li>コンピュータにおける文字表現である文字コードの特徴について理解している</li> <li>音やデジタル化の仕組みについて理解している</li> <li>画像のデジタル化について理解している</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意図したデザインにするためのHTMLタグやCSSセレクタを適切に選択し解答できる</li> <li>アナログデータとデジタルデータを比較し、その違いについて解答することができる</li> <li>ビット数と表現できる情報の数の関係について解答することができる</li> <li>2進数、10進数、16進数を用いて、目的に応じて適切に表現し解答することができる</li> <li>文字と文字コードの関係を理解し、それらを適切に変換し解答することができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

2 学 期	C コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化とシミュレーションについて学ぶ</li> <li>アルゴリズムとプログラミングについて学ぶ</li> <li>プログラムの基本構造（順次構造、選択構造、繰り返し構造）を学ぶ</li> <li>演算子や変数について学ぶ</li> <li>プログラム作成上の基本ルールについて学ぶ</li> <li>配列の仕組みについて学ぶ</li> <li>関数の機能について学ぶ</li> <li>探索プログラムの作成方法について学ぶ</li> <li>整列プログラムの作成について学ぶ</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデル化の目的や手順、モデルの分類方法について理解している</li> <li>簡単な基本構造のプログラムを理解し、作成することができる</li> <li>変数の役割について理解している</li> <li>配列の役割や要素、添字について理解している</li> <li>関数の概念、関数の種類について理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モデルの分類に関し、身のまわりの具体的な事例について解答することができる</li> <li>様々な演算子の機能について解答することができる</li> <li>配列の宣言、値の代入の方法について解答することができる</li> <li>正常に動作するプログラムを作成することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	7
	D 情報通信ネットワークとデータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>IPアドレスについて学ぶ</li> <li>ドメイン名と名前解決について学ぶ</li> <li>Webページの閲覧の仕組みについて学ぶ</li> <li>電子メールの送受信の仕組みについて学ぶ</li> <li>表計算ソフトウェアの関数の利用について学ぶ</li> <li>表計算ソフトウェアによるデータの可視化について学ぶ</li> <li>統計量とその計算方法について学ぶ</li> <li>データベースとその役割について学ぶ</li> <li>蓄積されたデータの活用について学ぶ</li> <li>リレーショナルデータベースの特徴について学ぶ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IPv4やIPv6の表記について理解し、2進、10進、16進数で表現できる</li> <li>ドメイン名の管理の仕組みを理解している</li> <li>表計算ソフトの関数を使って目的の量を計算することができる</li> <li>表計算ソフトウェアのグラフ作成機能を使って目的のグラフを作成することができる</li> <li>表計算ソフトウェアの関数を使って統計量を計算することができる</li> <li>データベースやDBMSについて理解している</li> <li>テーブル、レコード、フィールド、リレーションシップについて理解している</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Webページの仕組みについて、データの流れを追いながら解答することができる</li> <li>電子メールの仕組みについて、データの流れを追いながら解答することができる</li> <li>必要な情報を得るための適切なグラフを選択し解答することができる</li> <li>おもな基本統計量について解答することができる</li> <li>身近なデータベースについて解答することができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学 期	E 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報社会の問題解決について問題演習を行う</li> <li>コミュニケーションと情報デザインについて問題演習を行う</li> <li>コンピュータとプログラミングについて問題演習を行う</li> <li>情報通信ネットワークとデータの活用について問題演習を行う</li> <li>融合問題について問題演習を行う</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習問題に適切に解答することができる</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>演習問題に適切に解答することができる</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題演習に意欲的に取り組んでいる</li> </ul>	○	○	○	8
	定期考査に代えて、作品、レポート等提出物で評価						
合計							35

# 総合的な探求の時間

年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）教科

総合的な探究の時間

科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第1学年 A組～ H組

使用教科書： ( )

教科 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協動的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 総合的な探究の時間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高度情報化社会と言われている現代社会で情報の取捨選択をし、正しい情報を得るためのスキルを身に付ける	実社会ではどのような取り組みがなされているのかをケーススタディ動画内の企業や職業人の事例で知り、探究活動のヒントにするとともによりよい社会に向けての提言を周囲と協働しながら表現力を養う	探究活動に自ら積極的に取り組み、発表に向け仲間と協力しまとめる過程の中で他者と協働しより多くの人が納得し共通理解していこうとする態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 問いの立て方を知る 【知識及び技能】 問を立てるための基本的なプロセスを知る 【思考力、判断力、表現力等】 様々な情報を収集し複数の視点から実社会の課題を考える 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●地域の魅力や課題を、自己、他者、複数の視点から見つめ、視点によって見方、考え方が変化することを知る。 ●視点やキーワードを用いて、身近な実社会から取り組みたい課題を特定する。	【知識・技能】 問を立てるためのプロセスを説明することができる 【思考・判断・表現】 地域に対しての複数の問いを立てることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	4
B 課題を特定する視野を得る 【知識及び技能】 サプライチェーンの仕組みつながりを知る 【思考力、判断力、表現力等】 物事の全体像を俯瞰して課題を特定する力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●物事の全体像を俯瞰して見つめる視点と、注目して考える視点を得る。 ●サプライチェーンのしくみを知り、つながりを想像できるようにする。	【知識・技能】 サプライチェーンの仕組みやつながりを説明することができる 【思考・判断・表現】 物事の全体像を俯瞰して課題を特定することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	4
1 学 期 定期考査						
C 課題解決方法を知る 【知識及び技能】 新結合という課題解決の有効な手法について学び実践する 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決策について論理的に考え表現する 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●課題解決の有効な手法として新結合を学び、他教科の学習内容を活用できることに気づく。 ●課題の解決策を分析し、課題解決に必要な変化や組み合わせを考えられるようにする。	【知識・技能】 新結合という考え方を説明し課題解決のために用いることができる 【思考・判断・表現】 課題に対して論理的で実現可能な解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	5
D 事例から情報を集め表現する 【知識及び技能】 様々な課題解決に関する情報を知る 【思考力、判断力、表現力等】 個別事例から身の回りの課題や解決方法について考える 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●事例から情報を収集し、目的に応じて表現できるようにする。 ●事例から発展し、身近な事柄に結びつけて考えられるようにする。	【知識・技能】 様々な情報を収集し課題をまとめることができる 【思考・判断・表現】 個別の事例から身近な事柄の課題や解決方法について考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	5
定期考査						

2 学期	E 複数事例から学び表現する 【知識及び技能】 周囲との情報共有から自身の視野や考え方を広げる 【思考力、判断力、表現力等】 複数の情報を比較し自身の考えを深める 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●周囲との情報共有をもとに、自分の興味・関心や視野を広げられるようにする。 ●複数の情報を収集し、比較しながら考えられるようにする。	【知識・技能】 周囲の情報の特徴を明確にまとめることができる 【思考・判断・表現】 複数の情報を比較して自身考えを深めることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	5
	F 教科の学びを活用する 【知識及び技能】 教科の学びと実社会のつながりを知る 【思考力、判断力、表現力等】 実社会の課題に対して教科の学びを活用し解決方法を考える 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●教科の学びを実社会の課題解決とつなげる。 ●不足する情報は自ら補い、実現に向けて思考を止めないようにする。	【知識・技能】 実社会の課題と教科のつながりを説明することができる 【思考・判断・表現】 教科の学びを用いて実社会の課題解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	6
3 学期	G 理想の地域の実現案をつくる 【知識及び技能】 理想の社会の実現のために必要なことを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 身に着けた知識を総合して地域の課題を解決して理想の社会実現を考える 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●学習を経て自分自身の考えがどのように変わったか、俯瞰して捉えられるようにする。 ●身につけた知識を総合して、課題に対して適切な解決策を出せるようにする。	【知識・技能】 理想の社会について説明することができる 【思考・判断・表現】 身に着けた知識を総合して理想の社会にむけての課題を解決することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	3
	H 地域と自分の未来を描く 【知識及び技能】 俯瞰して物事の全体像を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 物事の全体から問題についての解決策について考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に自ら積極的に取り組み周囲と協働して課題解決を図る	●俯瞰して物事を見つめ、自己がどのように関わり、どのように解決したいか考えられるようにする。	【知識・技能】 物事の全体像を説明することができる 【思考・判断・表現】 物事の全体から地域社会の課題の解決について考え表現することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 周囲と協働して積極的に探究活動に取り組むことができる	○	○	○	3
							合計
							35



